



# 資料編

- 1 第3次地域福祉活動計画策定委員会設置要綱
- 2 第3次地域福祉活動計画の策定経過について
- 3 第3次地域福祉活動計画策定委員会委員名簿他
- 4 ボランティアに関するアンケート調査集計結果
- 5 用語集

社会福祉法人京田辺市社会福祉協議会  
第3次京田辺市地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 第3次京田辺市地域福祉活動計画（以下、「活動計画」をいう。）について、幅広く意見を求め、これを円滑に推進するために、第3次京田辺市地域福祉活動計画策定委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、活動計画の策定及び実施に関して必要な事項を調査、研究し、会長に具申する。

(組織)

第3条 委員会は、20名以内で構成する。

(委員)

第4条 委員の構成は次のとおりとする。

- (1) 第2次京田辺市地域福祉活動計画推進委員
- (2) 本会地域役員
- (3) 社会福祉関係団体
- (4) 福祉施設、事業者関係、団体
- (5) 社会福祉関係住民団体
- (6) 学識経験者
- (7) 社会福祉行政機関
- (8) その他、会長が適当と認める個人及び団体

2 委員は、会長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長1名、副委員長1名を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第6条 委員の任期は、1年以内とする。

2 委員が欠けた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

3 役職によって委嘱された委員については、前項の規定に関わらず、その職を辞して解くものとする。

(会 議)

第7条 会議は委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外のものの出席を求め、意見を聴くことができる。

(作業部会)

第8条 活動計画の円滑な作業を進めるために、作業部会を設置する。

(事務局)

第9条 委員会の事務は、本会ふれあい福祉課において処理をする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

付 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成29年6月14日から施行する。

## 第3次地域福祉活動計画の策定経過について

日 程	主 な 内 容
第1回策定委員会 平成29年7月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 策定委員会の設置</li> <li>○ 第3次京田辺市地域福祉活動計画策定の趣旨説明</li> <li>○ 策定作業の進め方</li> </ul>
第1回作業部会 平成29年8月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作業部会の役割と運営についての説明、合意</li> <li>○ 第3次地域福祉活動計画の策定の進め方について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年一年間の進め方について</li> <li>・ ボランティアアンケート調査の進め方について</li> <li>・ 分会、福祉施設との意見交換の実施について</li> </ul> </li> </ul>
第2回作業部会 平成29年9月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの取り組み状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアアンケート調査の経過について</li> <li>・ 分会、福祉施設との意見交換の実施について</li> </ul> </li> <li>○ 基本計画と活動計画のまとめ方について</li> </ul>
登録ボランティア アンケート調査の実施 平成29年 9月1日～9月22日	<p>本会ボランティアセンター登録者 995名 有効回答者数 490名</p> <p>アンケート内容と結果は 62～82ページに掲載しています</p>
第3回作業部会 平成29年10月5日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本理念と基本目標の検討について</li> </ul>
第4回作業部会 平成29年10月17日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本理念と基本目標の検討について</li> </ul>
第2回策定委員会 平成29年10月24日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3次京田辺市地域福祉活動計画の策定に向けた取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業部会におけるこれまでの取り組みについて(報告)</li> <li>・ 第2次京田辺市地域福祉活動計画のまとめについて</li> </ul> </li> <li>○ 3次京田辺市地域福祉活動計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念と計画の体系について</li> </ul> </li> </ul>
第5回作業部会 平成29年11月9日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本理念について</li> <li>○ 第2次京田辺市地域福祉活動計画のまとめについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次京田辺市地域福祉活動計画の総括</li> <li>・ ボランティアアンケート集計結果のまとめについて</li> </ul> </li> </ul>
第6回作業部会 平成29年11月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本目標と基本計画について</li> <li>○ ボランティアアンケート調査のまとめについて</li> </ul>

日 程	主 な 内 容
第7回作業部会 平成29年11月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2次地域福祉活動計画のまとめについて</li> <li>○ ボランティアアンケート調査について</li> <li>○ 基本目標と基本計画について</li> <li>○ 第3次地域福祉活動計画の構成について</li> </ul>
第8回作業部会 平成29年12月13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2次地域福祉活動計画のまとめについて</li> <li>○ ボランティアアンケート調査について</li> <li>○ 基本目標と基本計画について</li> </ul>
第3回策定委員会 平成29年12月19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2次地域福祉活動計画のまとめについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアに関するアンケートのまとめ</li> <li>・ 第2次京田辺市地域福祉活動計画の総括(案)について</li> </ul> </li> <li>○ 第3次地域福祉活動計画の基本目標及び基本計画(原案)について</li> </ul>
第9回作業部会 平成29年12月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3回策定委員会の報告</li> <li>○ 今後の進め方について</li> <li>○ 基本計画の構成について</li> </ul>
第10回作業部会 平成30年1月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本計画(案)について</li> </ul>
第11回作業部会 平成30年1月18日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本計画(案)について</li> </ul>
第12回作業部会 平成30年1月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基本計画(案)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画(案)と進行表の表記などについて</li> </ul> </li> <li>○ 「第2次地域福祉活動計画を振り返って」について</li> <li>○ 表紙のデザインについて</li> </ul>
第13回作業部会 平成30年2月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2次地域福祉活動計画の打ちあわせにおける指摘事項について</li> <li>○ 基本計画(案)について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目ごとの「ポイント」文書について</li> </ul> </li> <li>○ 概要版の作成について</li> </ul>
第4回策定委員会 平成30年2月20日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3次地域福祉活動計画の冊子の構成(案)について</li> <li>○ 第3次地域福祉活動計画の基本目標及び基本計画(案)について</li> </ul>
第14回作業部会 平成30年3月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4回策定委員会での経過報告について</li> <li>○ 構成(案)について</li> <li>○ 概要版(案)について</li> </ul>

## 第3次京田辺市地域福祉活動計画策定委員会委員

(任期 平成29年7月11日～平成30年3月31日)

委員長 永田 祐

副委員長 服部 卯之輔

(敬称略・順不同)

氏名	選出区分
永田 祐	地域福祉活動計画推進委員 同志社大学社会学部准教授(学識経験者)
玉井 和子	地域福祉活動計画推進委員 京田辺市民生児童委員協議会(社会福祉関係団体)
水井 登志子	地域福祉活動計画推進委員 京田辺市民生児童委員協議会(社会福祉関係団体)
中瀬 晃子	地域福祉活動計画推進委員 ボランティア連絡協議会(社会福祉関係団体)
服部 卯之輔	地域福祉活動計画推進委員 ボランティア連絡協議会(社会福祉関係団体)
小田 壽樹	地域福祉活動計画推進委員 社会福祉法人幸生福祉会(福祉施設関係者)
水山 良子	地域福祉活動計画推進委員(学識経験者)
井上 正俊	地域福祉活動計画推進委員(学識経験者)
宮崎 豊志	健康ヶ丘分会長(社協役員)
安井 幸夫	薪分会長(社協役員)
喜多 英男	京田辺市老人クラブ連合会 (社会福祉関係団体)
寺西 章郎	市政協力員連絡協議会 (社会福祉関係団体)
香村 和雄	京田辺市身体障害者協会 (社会福祉関係団体)

氏名	選出区分
金谷 みつ子	京田辺さくら（社会福祉関係団体）
藤永 実	障害者就労支援事業所「さんさん山城」 （福祉施設、事業者、団体）
萩尾 育	京田辺市障害者生活支援センター「ふらっと」 （福祉施設、事業者、団体）
佐賀 智恵	認知症介護者の会「にじいろ」 （社会福祉関係住民団体）
木村 俊光	京田辺市健康福祉部社会福祉課 （社会福祉行政機関）
竹内 真奈美	京田辺市地域包括支援センター「あんあん」 （社会福祉行政機関）

○地域福祉活動計画策定委員会 アドバイザー

氏名	所属先
河合 良彦	同志社大学京田辺校地学生支援課 （平成29年10月末まで）
大澤うらら	同志社大学京田辺校地学生支援課 （平成29年11月より）
齊藤 由華	同志社大学京田辺校地学生支援課
渡邊 一真	京都府社会福祉協議会 ボランティア・地域福祉振興課

○作業部会メンバー

加藤 誠	(ふれあい福祉課)
藤林 美智子	( // )
木村 陽子	( // )
料治 佳子	( // )
中林 洋亮	( // )
笹山 典孝	( // )
竹井 雅嘉	( // )
木村 圭子	(在宅サービス課 ホームヘルプセンター)
山田 美香	( // ケアプランセンター)

# ボランティアに関するアンケート調査集計結果

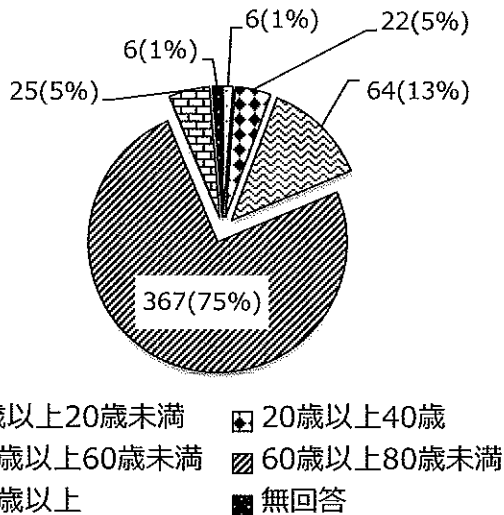
アンケート発送数 995名

有効回答者数 490名

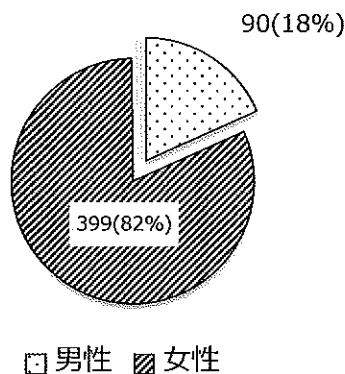
回答者率 49.2%

## 問1 年齢と性別、活動年数を教えてください

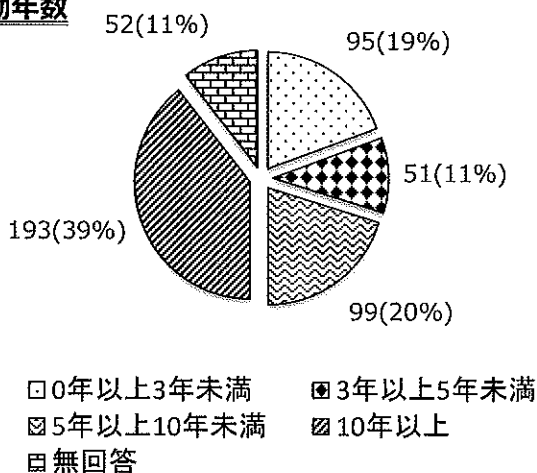
### 年齢



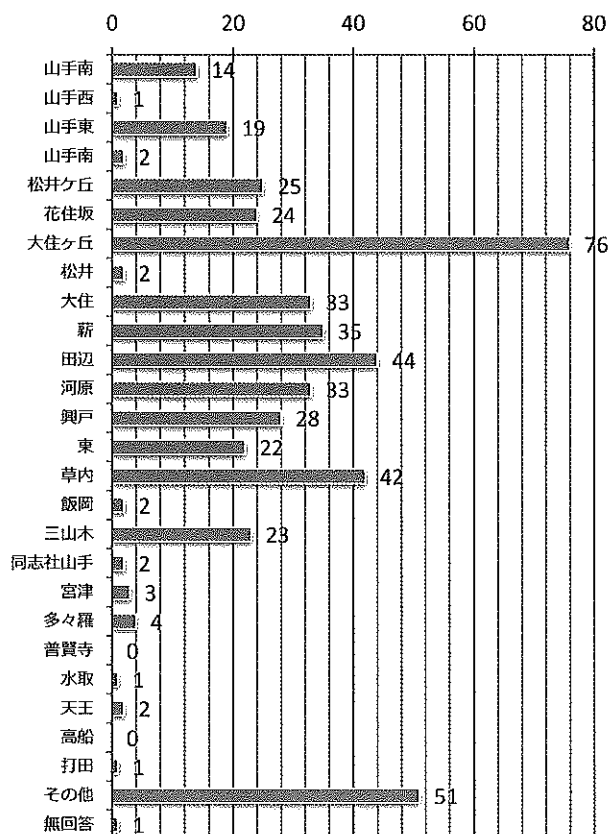
### 性別



### 活動年数



## 問2 お住まいの地域を教えてください

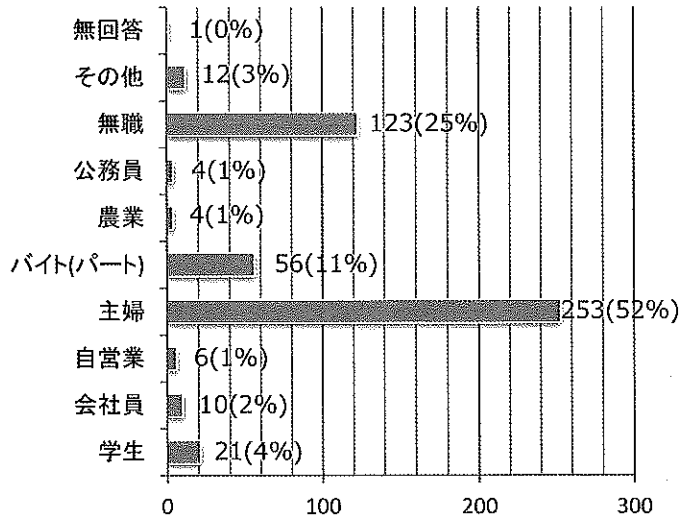


“5年以上”の活動者が半数を超えるなど、長期にわたって活動を担っていただいている方が多いという結果でした。“3年以上5年未満”が、“3年未満”より少なく、“3年以上5年未満”の活動年数で、続けるかどうかの分岐点になっています。

いわゆる北部地域（山手南から大住）と中部地域（薪～飯岡）の在住者が4割を超えています。また、京田辺市外から活動に参加するボランティアも多数おられます。



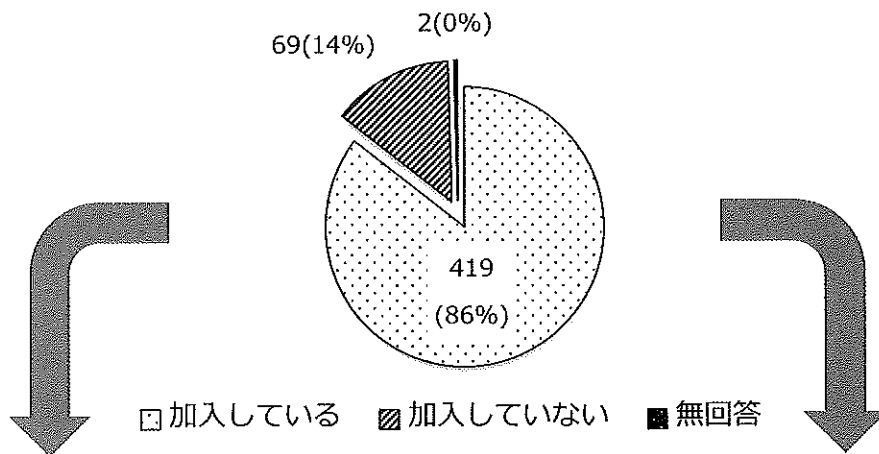
### 問3 職業等を教えてください



活動者の年齢やこの後のアンケート項目から、無職と答えた方は定年退職された方と考えられます。

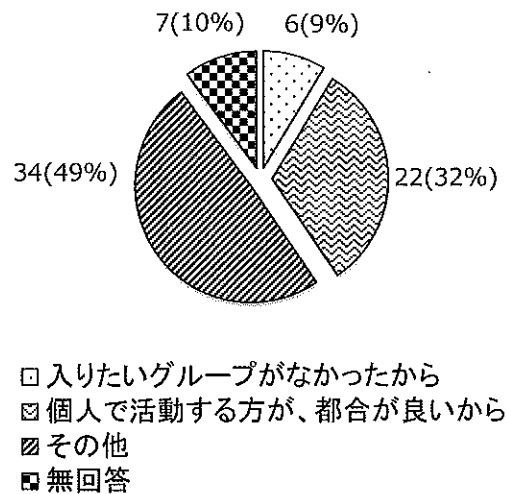
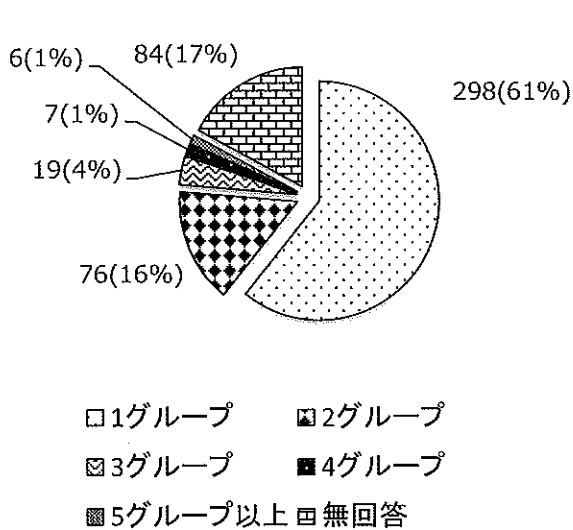
主婦と答えた方は、子育てが一段落した方が中心であると考えられます。

### 問4 ボランティアグループに加入していますか

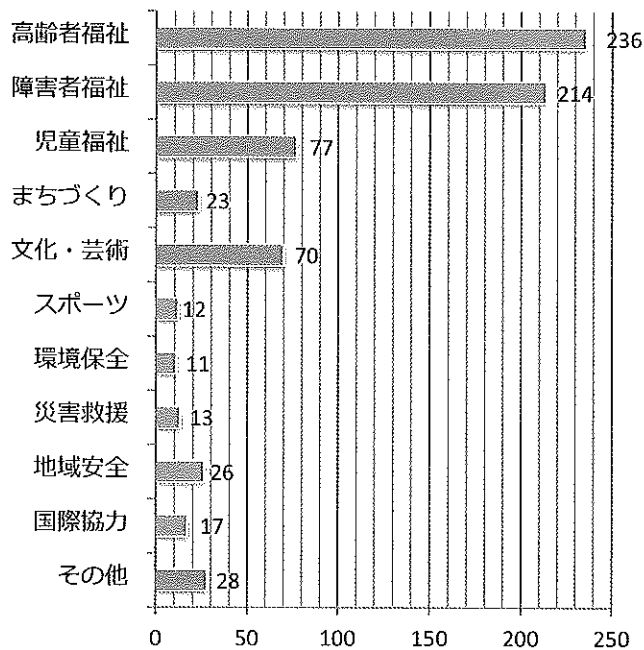


⇒問4で“加入している”と回答された方にお伺いします。  
現在、加入しているグループ数を教えてください。

⇒問4で“加入していない”と回答された方にお伺いします。  
その理由は何ですか



## 問5 活動しているボランティアはどのような分野ですか（複数回答可）



高齢者関係では本会がボランティアと連携して行っている配食や電話による友愛訪問活動、障害者関係では手話や点字などといったコミュニケーション支援活動が行われています。また、福祉施設の行事や余暇活動の支援、入所者とのコミュニケーション活動などにも多くのボランティアが関わっており、近年では自身の趣味や特技を生かしたボランティアも増えています。

これまでの、福祉的な活動だけでなく、社会貢献を目的とした活動に携わるボランティアが増え、多種多様な活動が展開されています。

## 問6 具体的に活動しているボランティアの内容を教えてください

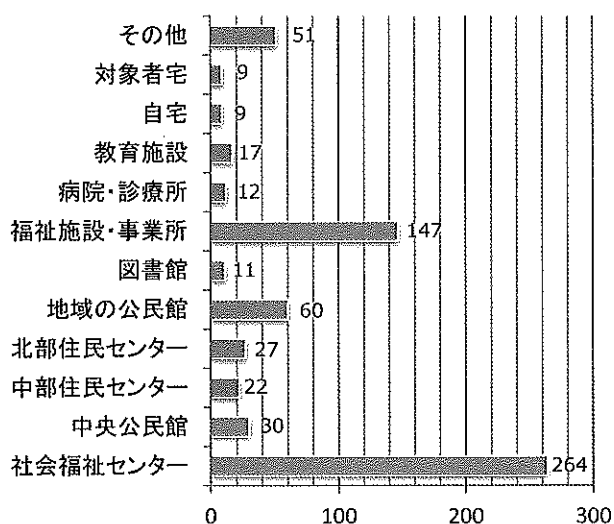
- ・手話×37
- ・認知症予防×4
- ・フォークダンス×7
- ・朗読×18
- ・太鼓演奏×2
- ・傾聴活動×7
- ・和太鼓演奏×4
- ・送迎×7
- ・踊り×4
- ・フラダンス×6
- ・小物づくり×3
- ・ピアノ演奏で歌を歌ったり、喫茶活動×2
- ・陶芸サポート×4
- ・音訳×2
- ・余暇活動×2
- ・今は何もしていない×2
- ・PC教室
- ・あじさいで弁当づくり、みどりの風でパンづくりの手伝い
- ・いこいの場
- ・イベント
- ・イベント、手芸クラブ、お花クラブ等の手伝い、喫茶など
- ・歌、おどり、ハンドベル
- ・歌、日舞、三味線、ハーモニカ等を使って楽しく
- ・点字×21
- ・配食×5
- ・要約筆記×8
- ・楽器演奏×8
- ・大正琴演奏×4
- ・おはなし会×4
- ・調理活動×19
- ・ハーモニカ演奏×6
- ・喫茶活動×8
- ・子どもの読書推進×3
- ・認知症予防体操（ゲーム）×2
- ・文庫活動×3
- ・拡大写本×3
- ・絵手紙×2
- ・テレフォンボランティア×4
- ・「サンサン山城」手話、施設修理
- ・UU
- ・あじさい、パン、踊り
- ・囲碁ボランティア
- ・イベント企画、実行
- ・歌
- ・歌、踊り、ハンドベル、体操、お茶等の接待
- ・歌・楽器演奏

- ・歌、太鼓、音楽療法
- ・歌の喫茶、小学校見守り
- ・運転、傾聴、子ども食堂
- ・絵本読みきかせ
- ・演芸等
- ・お世話
- ・お年寄りの相手が主でしたが現在はほとんどできていません
- ・お花、手芸、喫茶
- ・親子リズム運動、ヨガ、学習支援
- ・音楽ボランティア活動、高校留学をお手伝いする活動
- ・音楽を通してのふれあい、地域のお祭りなどの手伝いなど
- ・各施設の行事に参加
- ・語りと歌とパーカッション
- ・歌謡
- ・カラオケ、ボウリング、調理活動など
- ・気功サークル
- ・給食調理、テレフォンサービス
- ・行事のお手伝い、対話の交流
- ・傾聴、ショッピング、受診介助、イベント手伝いなど
- ・ゲーム、運転
- ・交流の場づくり（居場所）、学習会開催
- ・高齢者、障害者等の支援
- ・高齢者施設での喫茶活動・障害者施設との交流会
- ・高齢者のお話相手と食事づくり
- ・コーラス
- ・国際交流、子ども食堂、東区自主防、安全安心見守り隊
- ・子育て支援
- ・子ども食堂、中学校給食を考える、見守り(登下校)
- ・子ども文庫（本を媒体にした活動）
- ・小物づくり、パンづくり
- ・里山活動
- ・施設で製品作り等の補助
- ・施設の行事協力、クラブ活動。
- ・施設訪問、被虐待児エンパワメント
- ・児童に手芸
- ・週に1回、ろう者との交流や手話の学習
- ・手話、演芸など
- ・手話、傾聴
- ・手話、要約筆記
- ・手話や音楽活動で施設訪問
- ・障害者のお手伝い
- ・障害をもった方の余暇活動支援
- ・食事づくり、手話
- ・ショッピング、絵手紙
- ・ストーリーテリング、わらべうた
- ・精神障害者社会復帰及び自立支援
- ・歌と手遊び
- ・運営全般
- ・運転、配食、買い物、車いす介助、施設支援
- ・園芸、将棋
- ・演奏、リズム遊び、手遊び
- ・お年寄りの集いの運営
- ・踊り、高齢者の誕生会(食事会)
- ・お話、絵本の読み聞かせ
- ・音楽（楽器演奏）、登下校のパトロール
- ・音楽ボランティア、子供たちの遊びリーダー
- ・音訳（朗読）、踊り
- ・語り(物語)、楽器演奏
- ・カフェのお手伝い、文化祭など
- ・カラオケ
- ・体の不自由な人を病院等へ送迎（車にて）
- ・切手 他
- ・給食作り、パン作り
- ・車椅子押し
- ・ケアホーム草刈り手伝い
- ・健康体操
- ・交流や身体づくり、見学会等を通して
- ・高齢者施設でイベントや遊びのお手伝い
- ・高齢者との話合いやスポーツ、施設でのお手伝い
- ・高齢者のための余生の楽しみのお手伝い
- ・語学
- ・国際交流、市民ネット、はじめの一步
- ・子ども食堂
- ・子供食堂に旬の野菜を無償提供している
- ・子ども文庫活動、おはなし会
- ・在日外国人の日本語習得補助
- ・散髪ボランティア
- ・施設のイベント、配膳
- ・施設の手伝い
- ・施設や学校への慰問、子ども食堂等
- ・児童の登校時の交通安全
- ・手話、農作業
- ・手話、お弁当作り
- ・手話・さんさん山城
- ・手話サークルなど
- ・唱歌、寝たきり老人のあて布作り
- ・障害者の方と野外活動やクリスマス会など
- ・将棋相手
- ・食の安全を考える
- ・ストーリーテリング、絵本読み
- ・住みよい街になるよう意見を出し合い行動している
- ・送迎、災害支援

- ・対象者宅訪問、通院介助、施設・事業所の催し補助
- ・対面朗読、録音して月1回リスナーさんへ配付
- ・玉簾、更女、女性の船
- ・ダンス
- ・談話、歌を歌う
- ・知的障害者の方との交流、クリスマス会など
- ・調理、手作り品
- ・通院介助、車いす移乗介助、買い物支援等
- ・デイサービスのお手伝い
- ・手作りで作品を作りバザーで収入、障害者と交流
- ・点訳、点字体験学習（市内小中学校対象）
- ・登校の見守り、ラジオ体操、健康体操(いづれも高齢者)
- ・仲間の助け合い（送り迎え）
- ・日本語、文化などを日本語が母国語でない人に教える。
- ・日本語教室、要約筆記
- ・日本舞踊指導、訪問、中国の方との交流
- ・パソコン
- ・はばたき、更生活動
- ・パン作り 弁当作り
- ・福祉学習講師
- ・腹話術、手品
- ・古切手等の収集による障害者施設、海外児童教育への援助
- ・古切手、書き損じハガキでラオスの児童に奨学金支援
- ・ヘルパー、見守り
- ・補助
- ・盆踊り、民謡
- ・マジック、バルーン
- ・緑の風作業所外出V
- ・文字拡大、障害者の活動援助、減塩食普及
- ・物づくり
- ・やまびこ会（送迎、配食ボランティア）
- ・養老院まわり
- ・洛南寮での配食サービスの手伝い
- ・臨床美術
- ・老健施設の喫茶、買い物支援
- ・老人向けの録音テープの作成
- ・朗読、おはなし
- ・朗読、手遊び
- ・和太鼓、見守り
- ・演奏して歌ったり、手を動かしたりおりまげて1時間位楽しんでいただいています
- ・学校安全パトロール、ラジオ体操、高齢者、障害者の自立支援、青少年の健全育成
- ・観光、子ども食堂、学校安全ボランティア、地区の安全安心見守り隊、自主防災、自転車安全
- ・気功体操（高齢の方々も参加できる呼吸法を取り入れた体操）
- ・京田辺市⇒問51・2・3・4 城陽市⇒1・2 その他市内小中学校福祉体験授業
- ・高齢者福祉施設の庭園の除草作業、入所者を対象にしたコーヒー喫茶
- ・高齢者を対象とした認知症予防ゲーム（脳トレ）、子ども食堂
- ・体操、洋裁
- ・田植え、草取り、稲刈り体験
- ・誕生会(昼食・歌・喫茶)
- ・団地の施設で、週一回参加し、日本語を学んでいる
- ・地域ふれあいサロン
- ・昼食時の手伝い
- ・通院介助、デイサービス、買い物介助、
- ・手遊び、ゲーム、歌など
- ・手作り作品
- ・テレフォン、パン
- ・点訳、アングルンの演奏
- ・電話、パソコン
- ・夏まつり、子供会、手品
- ・日本語教育、カラオケ、健康
- ・日本語指導
- ・布切り、喫茶、夏祭りでの見守り
- ・パソコンを使って活動
- ・パン作り
- ・パンづくり補助
- ・福祉施設の草刈りや建物の補修
- ・腹話術、マジック
- ・古切手の収集
- ・ふれあいボランティア
- ・弁当給食づくり、地域見守り
- ・ほわいとまっぷに所属
- ・マジック
- ・まちづくりに資する課題の学習及び各種活動
- ・緑の風作業所における援助活動
- ・木工、竹工
- ・やまびこ、子ども食堂
- ・要約筆記、パソコン教室
- ・ヨガ
- ・りあん
- ・ろうあ者支援
- ・老人体操教室、認知症にならないようには
- ・朗読、自然観察、保全
- ・朗読、太鼓他
- ・和太鼓、陶芸

- ・高齢の方や障害のある方の行事補助や買い物支援、リフトカーでの送迎
- ・子ども会、自治会(夏祭り・餅つき)、奈良マラソン(ボランティア)
- ・参加者さんと一緒に工作を行ったり、工場見学に行くなど普段の生活の息抜きになるようなことを計画し、実行しています
- ・児童館で編み物を教える、災害時の炊き出しを教える、お茶会など同志社大学の学生(外国の人)に日本の文化を教える、あじさい(弁当作り)
- ・障害児(者)が地域で豊かに暮らしていけることを目指し、余暇活動などをメインとして活動中
- ・障害のある子、ない子、親もおもちゃと遊びを通して、人とのふれあい、ありのままに生き、あるがままに認め合うこだわりのない遊びの空間(おもちゃの利用及び貸出)
- ・ショッピング介助、絵手紙、カラオケ、車いすの清掃、園芸福祉
- ・座っての軽い体操、季節の歌、手遊び、歌に合わせて踊り、ハンドベル等、利用者さんと遊ぶことが目的です
- ・地域の高齢者と洛南寮の入所者と一緒に、月1回自分達が企画したゲーム他、小物づくりなどを通しての交流、認知症ゲームを通して多くの人との予防の時間を過ごす
- ・地域のパトロール、啓発活動、防犯教室の手伝い、食事づくり
- ・デイサービスにいられている人たちに大正琴の演奏を聞いて一緒に歌ってもらったり、歌に合わせて体を動かしたり、楽器をならしたりして1時間楽しく過ごしてもらう。
- ・点字、京視協さんと出会い、学ぶことが多い、社会に目が向くようになった、PCクラブ
- ・陶芸、パン焼き補助、一人暮らし高齢者へのお弁当の配付時に添えるメッセージの写真を提供しています
- ・電話訪問、演芸、傾聴ボランティア、子ども食堂、認知症対象のゲーム
- ・独居老人(自分も含めて)との対話、ゲーム等(食事づくり)、防犯活動、見守り隊、老人会でも子供の世話
- ・ドリップ式コーヒーのサービス、エコ(ゴミ削減の目的のリユースの手伝い)
- ・認知症予防ゲームによる福祉施設、公民館等への訪問、大正琴の演奏、子育て応援の取り組み援助
- ・畑(洛和会)、軽スポーツ(洛南寮)、障がい者の日の日帰り、一泊旅行のお手伝い
- ・畑、絵手紙、カラオケ、ショッピング、軽スポーツ
- ・話し相手、弁当づくり、パンづくりの補助、喫茶おやつづくり
- ・パネルシアター、絵本読み、学童保育から依頼されたら行っています
- ・老人施設の喫茶、宝生苑での健康体操、老人施設での行事の手伝い、小学生登校見守り
- ・老人ホームや地域での認知症予防ゲームと一緒にやります。老人ホームでカラオケ、物づくり、体操などをやります

## 問7 活動している拠点(主な活動場所)はどこですか

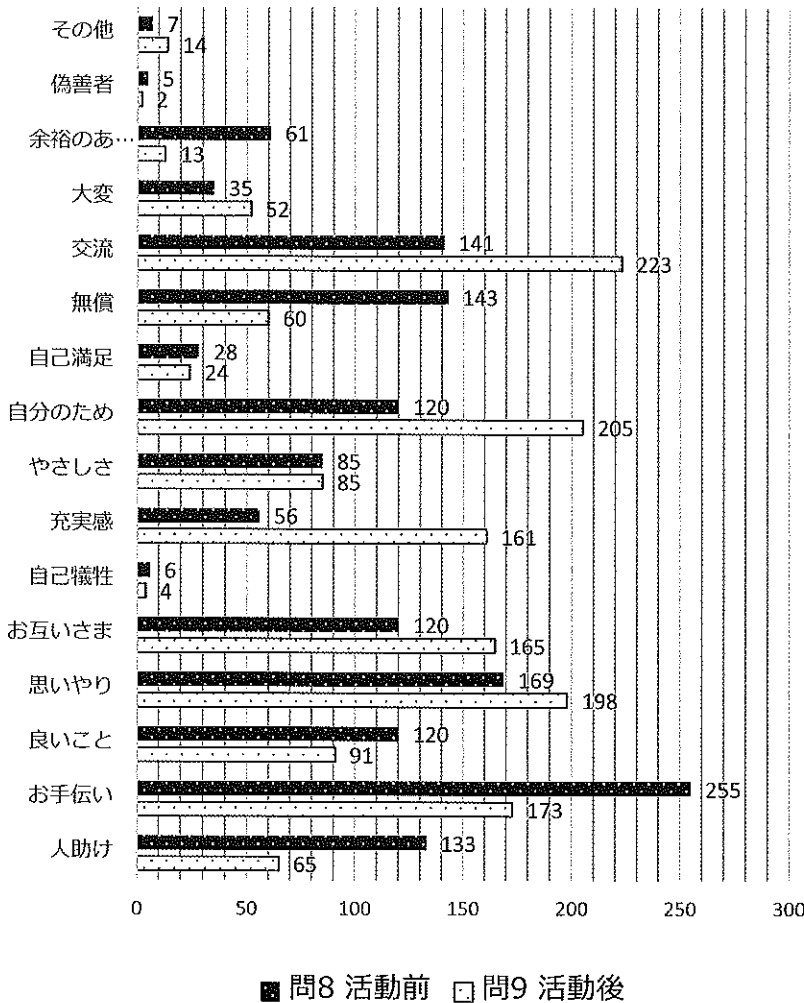


一番多かった社会福祉センターは、ボランティア活動の拠点になっています。福祉施設や事業所での活動も多く、その内容も幅広い活動が展開されています。活動先への足の確保が、ボランティア活動をするうえでの課題にもなっています。

**問8 活動を始めるまで“ボランティア”にどのようなイメージを持っていましたか（複数回答可）**

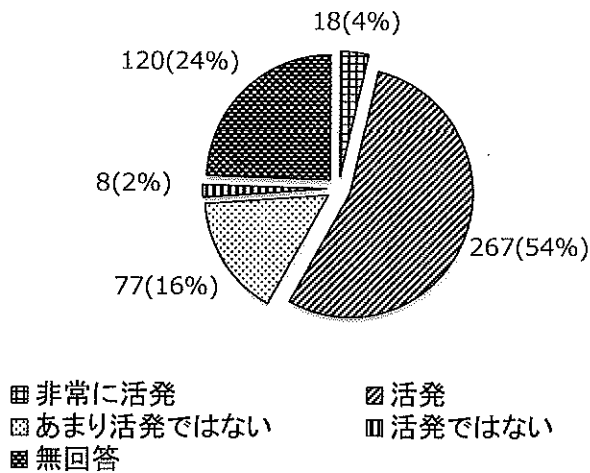
**問9 活動を始めてから“ボランティア”にどのようなイメージを持ちましたか（複数回答可）**

活動前と活動後の“ボランティア”に対するイメージ



ボランティア活動に関わる前は、「お手伝い」「思いやり」「無償」「交流」「人助け」といった回答が多いですが、実際に携わって「自分のため」や「充実感」といった、人や地域のためという社会貢献の意識から、自己研鑽の意識も加わっています。ボランティア活動を通して、たくさんの人と人との「交流」もそのような意識につながっているものと考えられます。

**問10 京田辺市内におけるボランティア活動は活発だと思いますか**



「活発」と答えた方が半数を超えており、自身が所属するグループをはじめ、ボランティアセンターに登録する団体数や身近な活動者の様子から活発だと感じておられる方が多数おられました。

〔その理由は〕

**非常に活発**

ボランティアの数や内容が充実している。×3

活動されている方々の前向きな姿勢に頭が下がります。

現在30年経過していると聞いた。古い方は40歳代より活動されているようで、活動に意気込みをもたれています。

八幡市のボランティアに比べて数が多く活発でよい

ボランティア活動しているところをよく見かけるから

地域間の交流も活発

周囲の方々をみて。(ボランティアの中にいるので)

私の地元ではこのような活動が全く行われていなかったため

私のような外国人にまで手助けが回っているから

公民館等利用することが多いので

活発に活動されていると思いますが、後継者不足かなと思います。

活発だと思うが、もっと横のつながりが欲しい。

複数のボランティアサークルに入っておられる人が周りに多いから×2

いろいろなイベントとか各利用者さんの交流など、他のボランティアグループとの交流もためになると思う。

それなりにいろいろな活動がある。ただ、もう少し広める努力も必要かも。

行事での活動。

様々なサークルがある。×3 1

活動されている話をよく聞く。福祉まつりに参加し盛大。

V連加入団体も多く活発だと思う。

管外研修などで他の市との交流で案外活発だと思った。

ボランティアをする人が多い。×2

内容がしっかりしているように思う。

活動に参加されている方は、いきいきとされている。×3

地域の特色に合わせて、多種多様なボランティアがあります。ただ、同じ様なグループの交流がないのが残念。

**活 発**

実家のある県では、傾聴ボランティア活動をこれから立ち上げるところと聞き、京田辺の方が活発で進んでいると感じました。

社協の中の様子

京田辺の地域ごとの自治会の行事に参加するチャンスがあり、社協のバックアップの上に、会員さんのボランティアをする姿に触れ、驚いている。

活発であってほしいです。

京田辺市の社協さんを通して、いろいろな施設から依頼をいただくから。

会う人は同じ人が多いです。

皆さん人の輪を大切にされていると思う。

そう聞いたから

皆さんの熱心さに感銘しています。

広報誌などを通して、皆さん活動されている様子を知って

市行政の福祉が以前より充実してきたから

なかなか広がり全体につながっていきにくい

学校への活動など思っていた以上に参加されていたことを知った。点字という活動はそれほどないと思っていた。

文化祭や行事において店舗出店があったり、通信発行されたり、広報板での宣伝があるため

様々な人が関わっている

## 活 発

忙しいほど充実しています。

高齢者の取り組みは早いと思いました。

自分が加入しているグループ以外にも多くの団体が活動していることを知っているから以前の職場でいろいろ(作品作り、ショッピングのお手伝いなど)ご一緒させていただきました。

熱心に取り組んでいる。ただし、ボランティアをする為の訓練の時間が大事。

体力、能力の8割くらいで活動して、十分に余暇を楽しんでいて、ボランティアができることがうれしい。

サークルに加入してから、ボランティアに関わっている施設がたくさんあるということが分かったし、南部ブロックなどの市内に留まらない活動も行っているから

様々なイベント等でボランティアの方が活躍されている姿を見ます。

グループも多く、それぞれいきいき活動しているから×3

負担に感じられない程度の時間で、活動させていただいているので、細く長く続けられそうなので。

サークルの活動を見て。ほかの地域は知らないから

自分の動ける範囲で、無理をせず長く続けていけそう。

宇治等に比べると活動に向けての(例)三者の参加が少ない。もっと参加してほしいです。

内容による

色々な分野の活動があり、催し物もたくさんあると思う。

各サークルの人が活動しているので

ボランティア団体がたくさんあり活動していることを知った。しかし中に入ってみないと気づけない。一部の人しか知らない実情も知った。

よくチラシやポスターを見かける。

就労支援のためのいろいろなアイデアを出し合って活動している。

よくわかりませんが活発だと思う。×3

サークルに入って半年ですが、3回活動に参加した。

度々施設からの要請を受けることがある。

自身のボランティア活動とは、ほんの小さな事しかできませんが、多くの方たちがいきいきと活動されているのを見る機会がある時に思う。

他市町村との比較はよくわかりませんが、次世代を担う人材の不足は心配しています。

北部住民センター、社会福祉センターがいつ訪れても何かしらの団体が使用しているから。

社会福祉協議会がしっかりしている。職員(スタッフ)が良い。レベルが高い。

時間にゆとりのある退職された方が積極的に取り組んでいるが、若い方の姿があまり見えない。

他の状況は分からないが、多くの人が頑張っているように思う。

近所に住んでいる人がボランティア活動に参加している人が多いから。×2

あまり具体的なイメージはない。自分達の活動と他のいくつかのみによる判断。

週1回3時間位でとても忙しいですが、皆さん休まず参加してくれます。楽しくやっています。

私が属しているグループは人数が多いこと。内容は詳しくは知らないが、他にも色々グループがあること。よく活動されていること。

人口に対して活動している人が少ないのではないかと

ボランティア連絡協議会がある。まつり、イベントの手伝い参加者が豊富

何かにつけて点訳という大変なことをやってくれている。自分の孫が住んでいる学校でボランティアが教えると言うことはないから。京田辺市内のボランティアは子ども達に教えているから。

他の地域に行ってお話を聞いて分かった。

月の内約12回ある

いろいろなところで他のボランティアの方々と会って、いろいろ話ができるから。

将来的に若い方に啓発が必要。

福祉センターにいても、いつも誰かが集まっておられるから。



## 活 発

周囲にも多くのボランティアの方がいるので。

女性の方々はいつも何かをされていて、仕事をやめたら自分のために、学ぶために何かをしたいと願っていた。次はなすびの出荷をしたいと思っている。

ふれあいまつりなどでいろいろな活動を知った。

広報、社協だより

それぞれの活動を聞いているので

大学のボランティアサークルがたくさんあると思う。

知人・友人（他の地域）に聞くと、あまり本人自身がしていないことが多かった。地域全体で行なう事業には参加するが、組織（サークル）には属していない。

個人個人自分の特技を生かして色々グループで個人で活動されている方を知っています。

多くの方が社協に来られ、活動している姿をみるから。

個々の思いで活動されている。会員相互の親睦にもなる。自己学習にもなり、参加してよかったと思っている。

活発だと思います。

身近なところに様々な活動がある。小規模都市なので、活動がある程度認知されやすい。

色々な場所で、活動されている場面を見かけるので。

他の状況はわかりません

私たち以外にも活動されている人たちのことを聞く

行事が多い

大学で、学生ボランティア団体が交流することがあり、それぞれが様々な活動をしていることを知ったから

特別なことはない。

ボランティアに携わる人が本当に少ないこと。人との交流を極力嫌がっていることも多い。

あまり身近に聞くことがない。×2

活動が複数の人によって回っている感があります。×2

周囲に知らない人が多い。

高齢者が多い。

団体、サークルとしての活動はあっても、個人としての活動が少ないように思う。

あまり身近に感じない。若い人の力がない。×3

一般の人に知られていない。×2

ボランティア対象者が減少している。

今年は2回目の朗読の新年会のみです。シャレた語りを入れるので認知度の高い方の所は遠慮しています。

## あまり活発 ではない

ボランティア情報はどこを確認すればよいかわからない。

人それぞれ

京田辺市が活発ではないから

交通面で不便なこと

地域の力がある所とない所がある。

活動を始めた頃は東地区の人はほとんどVをしていなかった。ここ少し活動する人が出てきた。

社協での活動・空間を除くと、私が健康なためか、日常生活でV活動や話題等に接したことがない。

活動している人も多いが関心のない人も多い。

活発かどうかもわからない。それぞれの分野と活動に広報を手厚くすべきか

高齢化していると思う。

まだまだ知られている地域が少ない。

周囲の人でボランティアをしている人があまりいない。活動しているのは一部の人だと思う。

まだまだだと思います。時間やお金に余裕がある人でも何もしていなくて、自分の楽しみだけしている人がたくさんおられます。

あまり活発  
ではない

施設との交流よくない。  
自宅の周りを見ても活動している人が少ない。  
まだ詳しく認識できていないかもしれませんが  
洛南寮に行っていますが、男性が少なく圧倒的に女性が多い。  
何を考えているのか、何となく集まりに寄って来ている人がいる。  
自分が行ってみてそのように思う。  
近所で誘う人が見つからない。  
同じ人のみ。発展性が無い。

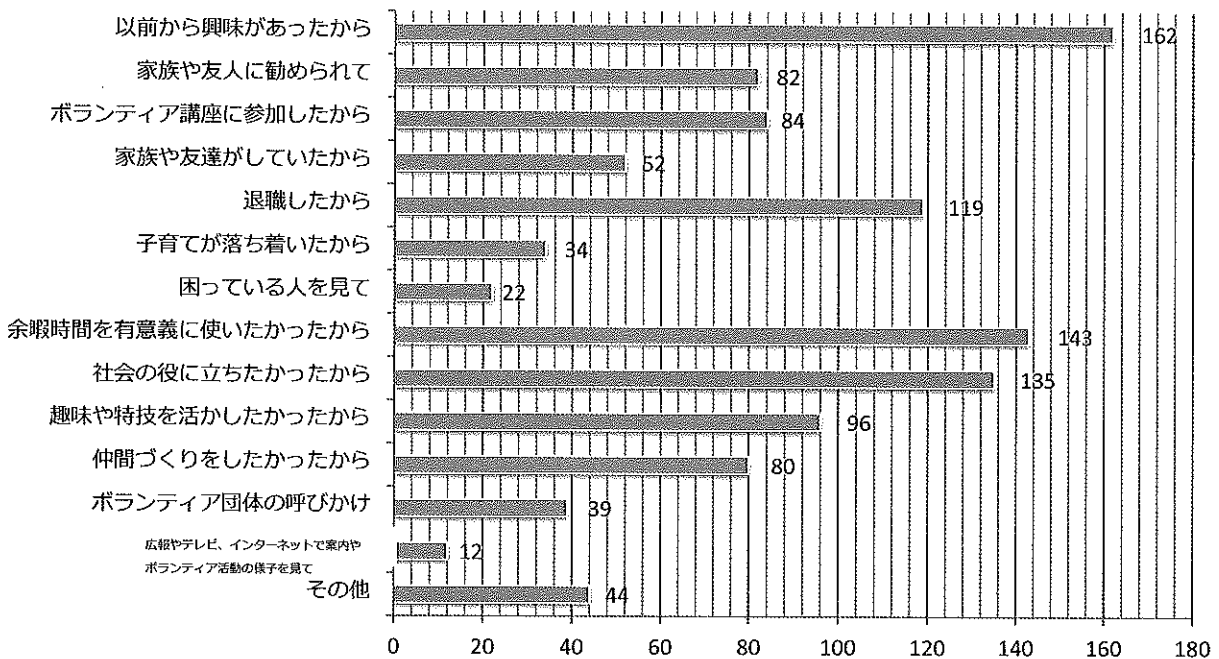
活発  
ではない

誰がどんな事をしているのかわからない。一部の人しかやっていない雰囲気。どこを見ても同じ人が目につく感じ。  
ボランティアに参加している人はいろいろな活動に参加している。多くの市民がボランティア活動に参加していないように思う。  
特に田辺は新旧の関わりが難しく、旧の方々が力を持っているのでやりにくい。  
よくわからない。  
年寄りばかり  
周りでボランティア活動をしているという声をあまり聞かないから。  
よくわからない・知らない×4 2

無回答

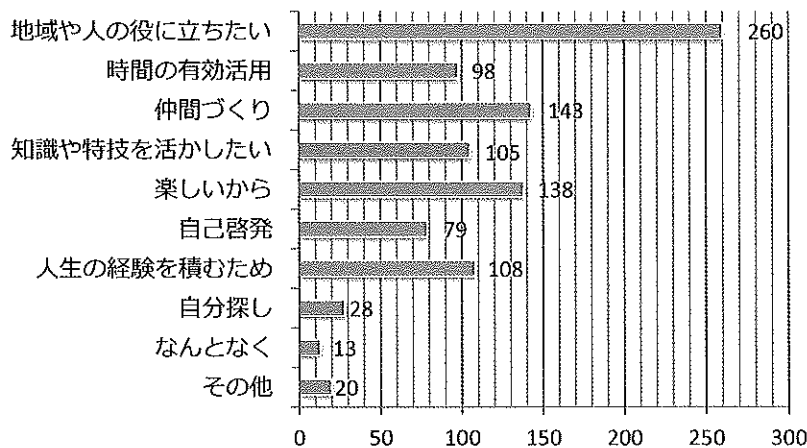
他地域と比較できない×2  
ふつうだと思う。  
高齢化に伴い、担い手が少なくなっているように感じることはある。  
病気のため

問 1 1 ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか（複数回答可）

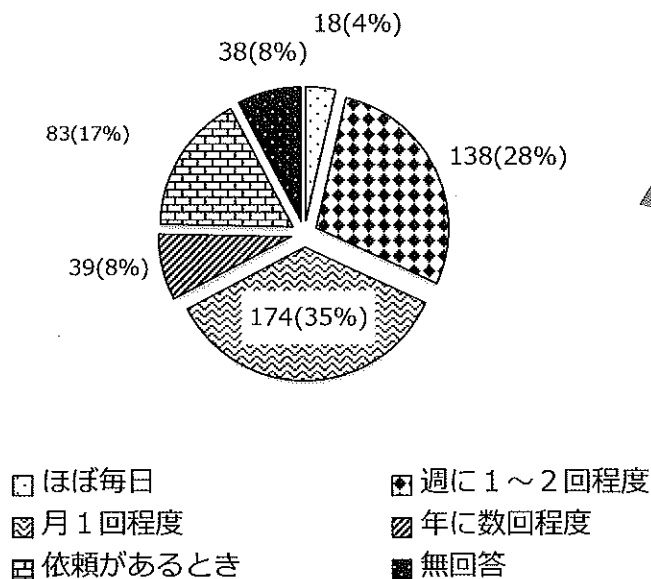


ボランティア活動を始めたきっかけとして、「以前から関心があったから」が多く、続いて「余暇時間を有意義に使いたかったから」、「社会の役に立ちたかったから」、「退職したから」と続いています。多くの方がボランティア活動に対し、以前から興味・関心を持っていたため、時間の制約などから解放されたことにより、貴重な時間を自分のための時間として、そして社会のために有意義に使いたいと考えておられます。

**問 1 2 ボランティア活動を行っている目的は何ですか（複数回答可）**

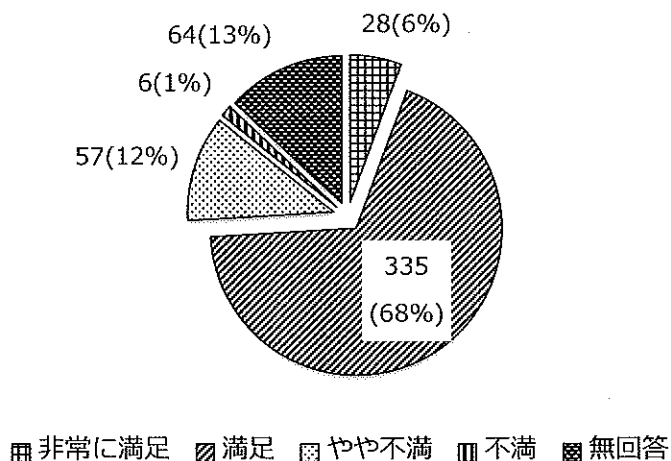


**問 1 3 どのくらいの頻度でボランティア活動を行っていますか**



「週に1～2回程度」、「月1回程度」が半数以上を越えており、自身が所属するグループの活動に合わせて、無理のない程度に活動をしている人が多くおられます。趣味の時間や家庭の用事などと共に、ボランティア活動が生活サイクルの一部になっていると考えます。

**問 1 4 現在の活動に満足していますか**



{その理由は}

**非常に満足**

毎回楽しく活動させていただいているので。×4  
お役に立てていると思ううれしい。  
施設の方々に感謝いただけたり、私たち側も楽しいから。×3  
楽しく関わった人たちと喜び合えるから元気をもらっている。  
今は病気になって行けないのが残念だ。よくなったらまたやらせてほしいと思います。  
楽しいが、ちょっと体力が心配。  
ボランティアに行くおかげで私も元気で頑張れる。  
準備もありそれ以上は大変  
行事がサークル以外にもあり、聴覚障害者や難聴者にも私の性格を理解していただき、楽しく交流できているので満足している。  
自己啓発になり、目標を持ちやすい。  
仲間とも交流出来、充実感がある。  
たくさんの学びや発見がある。  
私が身近にいることで色々安心できると言ってもらえる事  
ボランティア仲間の方がとてもいい方で良い雰囲気がある。

**満足**

毎日が充実しています。×3  
異年齢の方や住む地域の違う方たちと活動ができるから  
演奏活動させていただき、訪問先でも喜んでいただける。×9  
自由である。×2  
他に自己啓発していることがあり、これ以上は無理。  
ふれあいまつりや文化祭で皆さんにご協力の結果を報告している。  
ボランティア先の方が喜ぶところ  
無理があつては長続きしないと思う。また、自分に合ったボランティアがある時は参加する。×7  
まあまあというところです。  
楽しいから×3  
忙しいほど充実しています。×2  
利用者が喜んでくれている。参加日数が適当だから自分に合っている。  
自分の好きな作業であること。  
体力、能力の8割くらいで活動して、十分に余暇を楽しんでいて、ボランティアができることがうれしい。×4  
好きなことから  
自分の活動と目的は一致している。  
設備が整っている。  
負担に感じられない程度の時間で、活動させていただいているので、細く長く続けられそうなので。×13  
家族との関わり、自分自身の趣味、そして月4~5回のボランティアとバランスよく過ごしていること。×5  
社会貢献の一助となれている。  
特にゴミカレンダーは喜ばれている。  
不満がないため  
民生委員の仕事もあるため活動としてはちょうどよい。  
最初のボランティア活動では  
自分のわずかな特技で皆さんに喜んでもらっているから  
自分の出来る事が人のために役立っている。  
少しずつではありますが、時間を見つけていけたら  
私も年をとり毎月はお掛けられなくなりました。  
楽しいが、ちょっと体力が心配  
月に2~3回の活動で楽しいと思っています。

## 満 足

みんなの笑顔が自分の喜びとなるので

大きな事故もなく活動できている。

参加者さんと密に加わることができて満足はしているけれど、災害関連をしていきたいと考えています。

活動の中からいただくものも多いから

活動外でお友達になれて親しくしていることを喜んでいきます。

高齢者及び障害者の自立支援や青少年健全育成に多少なりとも貢献しているから

参加者も楽しく、自分も楽しいから

何とか満足して帰れる。施設に行くと、近所の先輩に会い喜んでくださる。

地域の人たちに喜んでいただいていることと、自分も楽しいから

役立っていると思う。

色々な人とのつながり。自分にできることがあればまた、自分も人のお世話になることがあると思う。人との広がりも大事だと思う。

月1回位、役に立ちたい。

活動しやすい環境にあるから(自身・所属サークルとも)

自分のためにしていることが人の役に立っている。

人間関係が良好×3

適当に活動できる場所があるので

参加した方に喜んでもらえる。楽しんで参加して下さる。

人の助けにもなっていると思うが自分も楽しむことができている。

笑顔の輪が広がると嬉しい。

私たちボランティアは、やさしく笑顔で接することを実行している。

依頼があって参加する程度でよいと思っている。

人間は一人では生きていけないとわかったから

自分の都合とほぼ合致している。

もう少しいろいろやりたいという思いはあるが、人材不足、時間の制限もあり難しいところです。

多くの方々と交流ができる。時間を有効に使うことにより、充実した日々となる。

満足しているがもっとボランティアの依頼をして欲しい。

毎回活動が円滑に進んでいるから

今自分が出来る最大限のことはしているから

仲間づくり、交流が広がったから

年齢を考えるとこれ以上は無理だから×2

多くの事を学ぶことができたため

退職後、地域の方と交流が増え、新たな友人もできた。×2

年齢相応

サークルのメンバーがとても親切にしてくれるから。自分の都合やペースで参加できるから。

志を同じくする友人達と前向きに取り組んでいる。

時間があると手伝えるところがあるから

農作物について、知らなかったことが分かる。手話が覚えられる。今まで会うことができなかった人たちと交流できる。

もう少し広がりを持てればよいと思う。

健康長寿に貢献しているから。

活動しているメンバーが親切であるから。

自分のやりたい活動に、やりたい時間だけ関わっているから。自分の成長を感じているから。

積極的に参加していると言う訳ではないが、現状としてはちょうど良い姿勢で取り組んでいると思う。

お互いに教え合って集中する楽しさを味わえる時間

少しの時間ですが、皆で笑顔になれるから

## 満足

慰問の時喜ばれる姿を見てやりがいがあります。こちらも元気をもらえます。

活動当初は不慣れで色々戸惑いもあったが、施設の利用者との交流を通して人々のお役に立っているのを実感している。

義務と言う感じにならない程度だから。後に余裕が出来れば増やすこともあります。

常に活動の場を広めて、メンバーにやりがいを持つようにしている。

子どもから大人まで幅の広い年齢の方と交流が出来ているから。

広範囲に活動が広がってきています。

元気をもらっています。

自分の生活としてボランティアを組み入れていますので。

社協(市・府)の助成金を使わせていただき、また、活動にご理解いただき、ご協力くださっていることに感謝しております。

活動するために、まず自分自身の健康を気遣うようになった。

内容が簡単。無理が無い。

色々手を出してしまったことと、親の遠距離介護が重なって、能力を超えてるかな…と思ひもし、実際大変なことも多いが、充実感はある。

自分なりの努力をし、力を尽くすことで、責任を果たすことができるから

一番やりたいことの合間に積極的に参加できているから

他の用事を優先しなくてはいけなく、ほぼ活動に参加できていない。×5

いろいろな理由で思うような活動はできていません。

年齢的にも体調も悪く、思うように心身ともに活動しにくくなってきたゆえ×4

会社勤めをしているので、自由な時間に限りがあるため×3

人数が少なくなっている。×3

もっともっと参加者を増やしたい。そのためには、心の健康推進員の増加が必要

ボランティアの活動が減少している。×4

市からの誘いかけはなく、自分で探して申し込む

練習不足、仲間不足、財源不足

いろんな人がいるので

見守りについてももっと皆さんに協力していただきたい。学校の対応についても

仲間が高齢になってきているので田辺や興戸等近くが良いと思う

自分の思いと活動にずれがある。

以前は複数の施設を訪問していたが、ここ一年以上同じ施設なので、他の施設の利用者さんの様子を見てみたい。

自分の活動が、実際の現場に活かされていない。(点訳本を読んでくれる人がごくごく少数。)

自分に合った活動がなかなか見つからない。

ボランティアの高齢化

施設の意図がよくわからない。

年が80歳に近い人がきっちりとお仕事をされていて、体もしんどいと思うが、何もおっしゃらなく、68歳くらいの方がボランティアなのに動きが悪く、一人だったら仕方がないが、二人で組んで進めていく仕事ものろのろとか。ボランティアってもっとすっきりしているのかと思っていた。

会員の中で車を出すのはちょっと心配。もし事故になれば…。送迎バスを出してもらえれば助かります。

サークル以外の方に役立つ為の方法はないのか。

楽しくない

福祉センターは自宅から遠い。交通費の自己負担を続けるとなると、負担感がある(夫の年金暮らしで収入が無いので)

人的交流が少ない。×2

## やや不満

**やや不満**

メンバーが不足して、一人あたりの負担が増えている。人数が多ければ活動の質もあげられるし、幅も広げられると思う。

あまり参加できていない。上達できない。

活動機会が少ない。

理解者と協力者(医者等)を見つけていく必要がある。

**不 満**

仲間が増えない。

参加できていないことが多いから。

最近は活動していない。

始めたばかりで活動とまでは言えず、まずは仲間づくりから。

現在は対象者がなく活動をできていない。(家庭の事情で休会状態が今年前半までであったため)

満足しているかについては、自分はまあまあだと思っても、相手によってとらえ方が違うので、実際の所その時その時で違うと思います。

**無回答**

ふつうと感じている。

仕事の関係もあって活動ができていません。

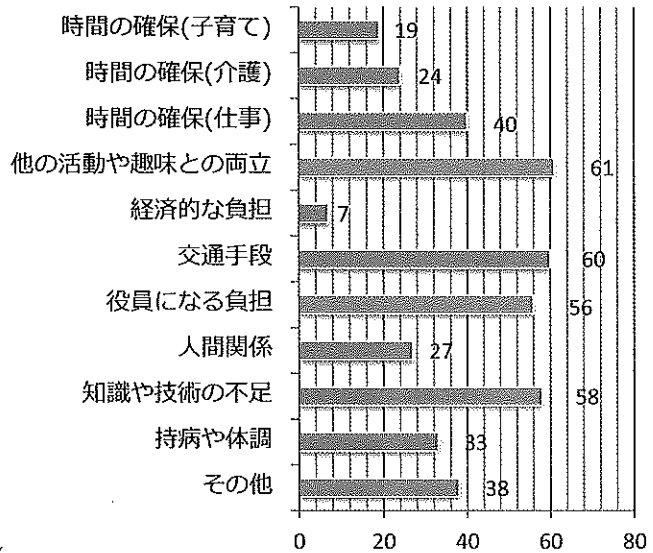
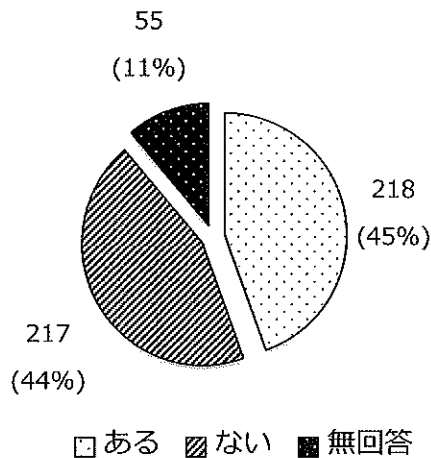
わからない。

本当のところ何とも言えません。自分のペースでやっているの。

現在病氣治療中で休止中

**問 1 5 活動にあたって問題点や困難はありますか**

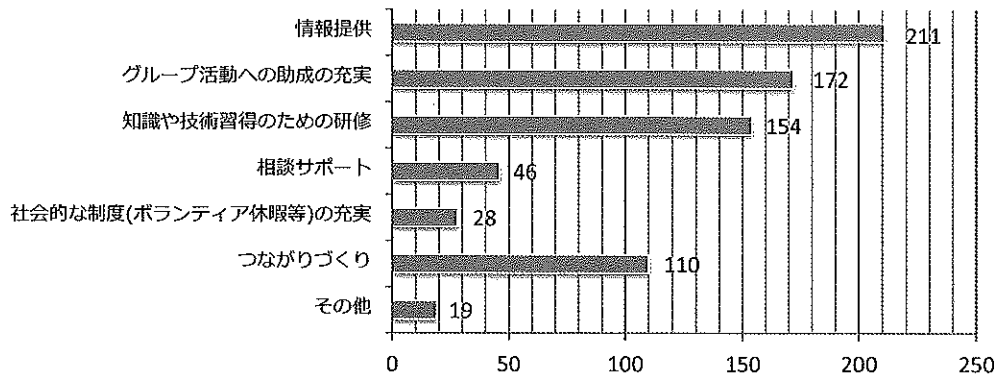
⇒問 1 5 で“ある”と回答された方に伺います  
その理由は何ですか (複数回答可)



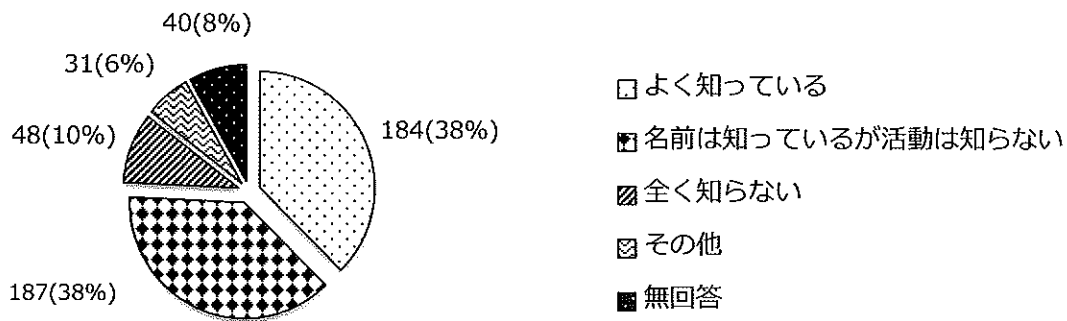
“ある”と回答した女性は、活動拠点である社会福祉センターまでの「交通手段」が少なく、困難であると感じている方が多くおられます。男性では知識や技術不足と感じている人が多く、活動年数に起因するものと考えられます。

また、女性では「役員になる負担」と答えた割合が多い反面で、男性は比較的低い割合に留まりました。

**問 16 ボランティアをするうえで、どのような支援が必要だと思いますか（複数回答可）**

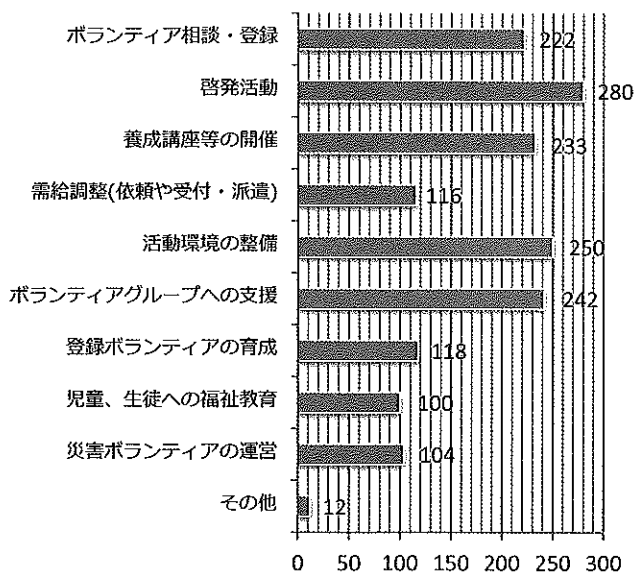


**問 17 “社会福祉協議会ボランティアセンター”をどの程度知っていますか**

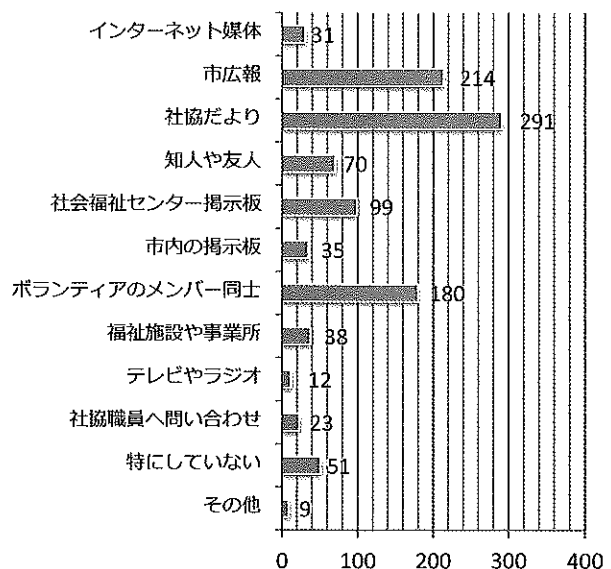


約半数が、ボランティアセンターについて「活動は知らない」、「全く知らない」という回答でした。すでに活動されている方であっても、活動や取り組みに対して認知度が低く、ボランティアセンターを広く知ってもらうための工夫が求められています。

**問 18 本会のボランティアセンターの取り組みについて知っているものはありますか（複数回答可）**

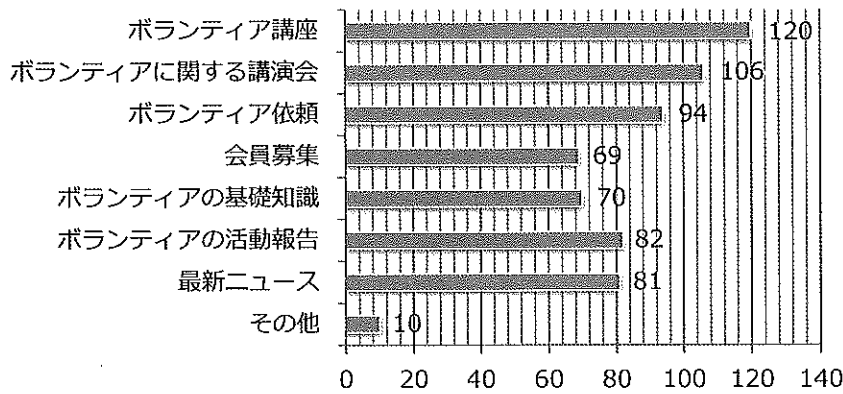


**問 19 どのようにしてボランティア情報を収集していますか（複数回答可）**

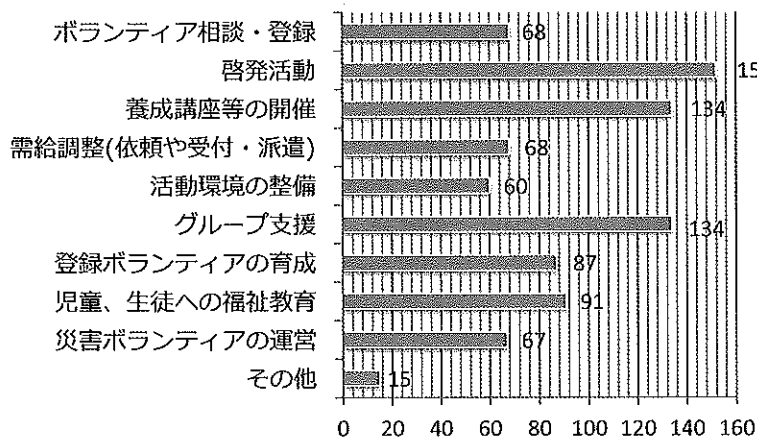




**問 2 0** どのようなボランティア情報を希望しますか（複数回答可）

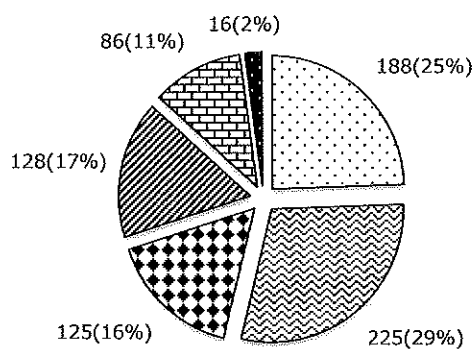


**問 2 1** 今後どのような取り組みが大切だと思いますか（複数回答可）



「啓発活動」や「養成講座の開催」といったボランティアの参加促進に向けた取り組みだけでなく「グループ支援」の回答も多く、組織的な活動の発展、継続的な活動、運営への支援も求められています。

**問 2 2** ボランティア活動者を増やす方法として、どのような手段が有効だと思いますか



- 研修会や講座の実施
- ▨ 市などが主催するイベント等での啓発
- ▩ ボランティアによる口コミ
- ▧ 直接的な働きかけ(自治会や企業など)
- ▤ インターネットやSNS(フェイスブックやツイッター等)の活用
- その他

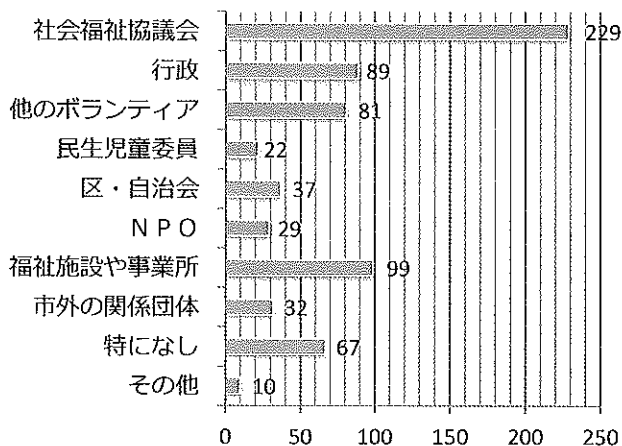
「研修会や講演会の実施」、「市などが主催するイベント等での啓発」が半数を超える回答となりました。いずれもボランティアと連携をはかりながら進めていかなければならない取り組みであると考えます。ボランティアとの意見交換をはかりながら、取り組みを進めていきます。

## 問23 今後どのようなボランティア活動が必要だと感じますか

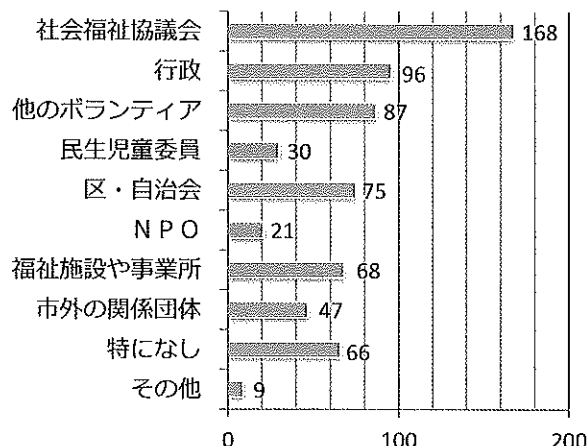
- ・若い世代がボランティアをできること
- ・児童向けの活動
- ・これならボランティアに参加してみたいと思えるもの
- ・必要とする人とされる人の情報提供の方法が必要かと思う
- ・障害者支援、独居高齢者支援
- ・高齢者福祉や地域安全
- ・社会的弱者への手助け
- ・超高齢化社会に向け、高齢者に介護や居場所づくり
- ・少子高齢化の対応
- ・障がい者家族も交えた活動
- ・子どもの貧困、母子家庭の貧困など、啓発及び援助
- ・家事代行
- ・高齢者福祉
- ・困っている人を助ける
- ・災害ボランティア(現実的な)
- ・災害ボランティア
- ・小学生(1~6年生)手作り講座、竹とんぼ、コマ回し、紙飛行機
- ・高齢者のための防災、寝たきりにならないための健康体操
- ・時間があれば人の手助けをしたい
- ・市議会議員をボランティアでやりたい
- ・独居老人の生活全般で、特に日常の買物
- ・近隣での助け合い、ささやかな活動
- ・児童福祉(虐待防止)
- ・災害ボランティア
- ・今活動しているボランティア以外は思いつかない
- ・交流が図りたい
- ・障害児(者)はもちろんのこと、認知症など高齢の方への支援
- ・高齢者をサポートするためのボランティア
- ・高齢者対象のイベントに関するボランティア活動
- ・教育における経済格差を是正するもの
- ・楽しく参加
- ・各種活動を通じた市民力、地域力の向上を図るイベント等
- ・高齢者施設の掃除、話し相手
- ・この町に住んで良かったと思われる活動
- ・在日外国人との交流や支援
- ・小中学生を巻き込むような活動と啓発活動が必要では。
- ・清掃(きれいな街づくり)
- ・高齢化社会に向けて、もっとお助け隊のようなのが必要かと。
- ・一人住まいの高齢者(独居老人)への働きかけ・声かけ
- ・高齢者に対する働きかけ
- ・各組織、団体等との連携がスムーズにできること。
- ・「活動してみようかな…」という若手を育てる活動
- ・地域に密着した活動
- ・英会話をボランティアで教える(国際化時代の為)
- ・高齢者施設でのボランティア活動
- ・自己満足だけで終わらない活動
- ・パターンを固定しない活動
- ・高齢者の見守りなど生活支援
- ・災害、高齢介護(買い物、見守り)、子育て支援
- ・買い物や掃除、病院への付き添い
- ・子育て支援
- ・健康推進、健康相談、若い人たちによるボランティア
- ・年配の方々の集う場所、地域ごとに
- ・一人暮らしの高齢者や障害者の見守り
- ・みんなで作っていく、楽しめるボランティア
- ・災害ボランティア
- ・災害ボランティア育成の現地研修体験
- ・趣味特技を活かし、子供たちを健全に育てる活動
- ・介護、送迎、住区毎に小さな手伝い(日常生活)
- ・ヘルパー的業務
- ・閉じこもりがちの人への支援を考える
- ・子ども食堂など貧困家庭の子どもに対する支援
- ・災害Vの確保、運営、実践に向けての取り組み
- ・介護が必要な人のボランティア
- ・ボランティア活動に重きを置くのではなく政策で
- ・高齢者、一人暮らしの人たちへのボランティア
- ・よくわからないが、現状でよいのでは
- ・地域ごとに密着した活動
- ・まちづくりをテーマとした活動、ハード、ソフト両面
- ・高齢者の支援
- ・介護関係
- ・施設支援
- ・異世代交流の場づくり(高齢者が増えている)
- ・介護
- ・自発的参加を促す社会づくり。
- ・ボランティアをする人達も楽しめるような活動
- ・一人暮らしの高齢者のサポート
- ・需要ある活動
- ・災害
- ・独居の人へ声かけ
- ・グループの高齢化による送迎(練習や施設への移動)
- ・不登校児の支援活動
- ・ボランティアの活動の場をもっと広げて欲しい
- ・年配の方の力を借りる

- ・市民生活に根づいた息の長い活動
- ・高齢者のデイサービスセンターのようなところ
- ・高齢者支援だけでなく、元気な高齢者の活動を促すプログラム
- ・環境を美しく、年に数回自主的にゴミ拾い（全員で）勿論、職員も一緒に
- ・ボランティアの送迎してくれるボランティアサークル（社協から施設までの往復）
- ・児童、学童、学生ができるボランティア活動、高齢者ができるボランティア活動、地域ボランティアバンク作り
- ・独居老人の各種書類作成の補助（意味、書き方など、ちょっとした事がわからない場合が多いので、ご自宅まで出向いてお手伝いする。）
- ・乳児や高齢者、障害者への継続的な活動はあるが、児童対象の継続的なボランティアが不足している。
- ・サークルも60～80歳が多数。若い人が入っても、なかなか続きません。人数集めが大切だと思います。
- ・自宅にこもりがちな高齢者に対する働きかけ、ひきこもり（若い人も）対策
- ・楽しい活動がボランティアだという意識の形成…イベント企画や実行を手伝ってもらおう
- ・私の活動範囲から感じた事とは、若い施設で働く方でも非常に関心を持たれる方が見えます。昭和の歩みと名曲など
- ・社協と自治会が連携して推進してほしい。自治会ではほぼボランティアの話題はないです。
- ・毎日がボランティア活動、地域に居ても町に出ても、いつもどこにでも活動の場はありますね。
- ・ボランティアの関心度が老人以外かかわってない方へのアプローチ？
- ・提供する側、受け手の双方のコミュニケーションが深まる活動
- ・高齢者や障がい者に対する包括的なサービスができるボランティア活動
- ・私は外へ出られない人達を1時間でもたのしませて、変化のある生活をさせてあげたいと思います。
- ・幼稚園や保育所で子供と遊んだり先生や保育士さんのお手伝いをする活動
- ・お年寄りが増えていくと思うので、高齢者施設での活動があれば
- ・高齢者が増えており、いつまでも安心して暮らせるためのボランティア活動が必要。市がポイントを使い包括で行っているが、それとの整合性が必要。
- ・ボランティアの高齢化で退会され、活動が停滞しないよう会員を募集
- ・ボランティア活動の底辺を広げるためもっと多くの人々に参加してもらおう
- ・個人参加からボランティアを呼びかけるのではなく、こちらから企業団体へ推奨していく
- ・高齢者の生活を支えるボランティア（介護保険やシルバー人材センターの間を埋める活動）
- ・最近では災害が各地で起こっているので、復興支援活動が必要だと感じます
- ・今後高齢者の増加に伴い、介助ボランティアが必要になるのでは
- ・中高年（60代70代）の障害者（車椅子レベル）の楽しめる場所づくり
- ・今後老人が増えてゆくので、生活の手助けができらと思います。
- ・貧困家庭の子どもに対する無料の学習支援、進路相談などが出来る場所、子どもの居場所づくり、若者の自殺を少しでも減らせるよう相談できるところ
- ・選択肢がいろいろあって、個人にあうボランティアが見つけれられること。
- ・リフトカー利用の広報（市内には歩行困難で、日常生活の支援を求めている人が多いはず）
- ・ボランティアをしている人が高齢化しているのでもう少し若い人に入ってもらいたい。
- ・災害時に必要なボランティア育成。災害時にさらに困難や障害者・高齢者・病者、またはその家族への対応（行政だけでは無理）
- ・時間のある人は、ボランティア活動に参加されることを望みます。
- ・京田辺市にもあると聞きましたが、災害ボランティアや放課後の子供たちの居場所…は、良いことだと思います。
- ・問21の8、とても大切だと思いますし、より充実させて頂きたいですし、そこに参加したいと思います。
- ・これから高齢化が進んでいくようですので、それに対応するボランティアが必要かと思っています。
- ・一時的なボランティア募集(一度やるとずっとやらないといけないうかと思ってしまうと思いきれないから)

**問24 活動にあたって、連携しながら進めている機関や団体はありますか（複数回答可）**



**問25 活動を進めるうえで、連携をはかりたい機関や団体はありますか（複数回答可）**



すでに「行政」「他のボランティア」「福祉施設や事業所」と連携をしながら進めているボランティアが比較的多く、今後の活動に向けては「区・自治会」と連携をはかりたいという回答が多くあり、身近な地域の中で、連携したボランティア活動が求められています。

**◇ ボランティアもしくは日頃のボランティア活動に関して、思うことや感じること、ボランティア活動の推進に向けたアイデアなど何でも構いませんので自由にご記入ください**

- ・自分自身が毎日楽しく暮らすこと
- ・もっと関わる人が増えると良いと思います。
- ・皆さん、良い方たちばかりです。
- ・問20～25 社協でご検討いただければ幸いです。
- ・もっと社協もボランティア内容に関与してほしい。
- ・もっとオープンに交流し合えたらと思います。
- ・ささやかなことでも活動に活かしていきたい。
- ・広域や青年団体、同志社大との幅広い交流
- ・堅苦しくない交流の場が必要
- ・現在していないので、現状がよくわからない。
- ・先進的事例の紹介（講習会・DVD・見学）
- ・月1回の活動で私事都合で休みにくい。
- ・学校関係の方に啓発が必要。
- ・助成金など行政の支援
- ・学生や若い方をどのようにボランティア活動に参加してもらうか、呼びかける催しを開催する。
- ・会で行事を行う時、社会福祉協議会の皆様にお世話になっております。ありがとうございます。子育て世代や高齢者も活動できる（活動しやすい）ボランティア活動があればと思います。
- ・活動メンバーの高齢化とメンバー募集の体験講座を企画してもメンバーが集まらない状況に不安を感じる。
- ・ボランティアの方々には、頭の下がる思いです。ただ自分にできることは、年を重ねていく上で、一日でも長く“自分にボランティア”。家族や周りの方々の手を煩わす事の無いよう生きること！でも、いつまでも出来ることではなく、せめて身の回りの事は頑張っていこうと思います。ありがとうございます。
- ・交通手段がうまくいかないこと
- ・高齢者向け福祉に関するボランティア活動
- ・交通手段の充実
- ・市役所と社協の協力
- ・人の為だけではない。自分のためにもなる。
- ・市民活動の地位向上
- ・身近に接して障害者と体験する。
- ・支援が必要な人に支援が行き届いているか心配
- ・次世代のボランティア活動大丈夫？と心配
- ・年齢層(60歳代の活動加入を望みたい)の問題
- ・〇〇の社協の方は行っても無関心。京田辺は親切丁寧
- ・40～50代くらいのリーダーが必要
- ・無理せず続けられるように心がけています。
- ・年配者が何かをしたいと思っても窓口が遠い。

- ・皆で楽しく歌うボランティアがあれば嬉しい。高齢化が進む中、活動家の足（バスや車）が心配。もう少し若い人が参加してくれればと思います。
- ・ボランティアという始めはネガティブな感じだったけど、やってみれば楽しかった。
- ・ボランティアだけでなく、他の福祉関係のことも含めて情報を得る場所が決まっているので、学校・幼稚園などへ協力をお願いしてみてもいいのかなと思いました。（保護者が知ることができるので）
- ・高齢化になってくると、交通手段が難しくなってきた、ボランティアをしたくてもできなくなってくるのではと思います。
- ・いつもお世話になり、ありがとうございます。ボランティア活動は、必要でニーズもあると思うのですが、昔と同じやり方では難しいのかなと感じています。
- ・ボランティアの活動者も高齢化しているなか、どのようにしたら若い活動者を引き込めるか考えないといけないと思います。ボランティアの魅力って何でしょうね。
- ・障害者（施設）事業所のボランティアをしています、利用者には個人差があり、戸惑うことがあります。
- ・“ボランティア”活動が特別なことではなく、住民全体の日常のこととしての意識を持つことが大切なのではないかと思う。
- ・あくまでもボランティア、されどボランティア、責任はある。健康でないと大変
- ・いつも活動できる場所（社会福祉センター）があることに感謝しています。
- ・なかなか、難しいことばかり。身内は遠く、入りこめないのも、助けてほしいと言われることができない。
- ・京田辺市は、障害者に対して優しい都市とは言えない。バリアフリー化が進んでいない。安全に暮らせる道路整備ができていない。
- ・今、どんなボランティアが必要なのか、一覧にして定期的に配布するとか
- ・現在、何も活動していません。来年、仕事を辞めたあと、何かお手伝いできることがあればと考えています。
- ・自分が必要とされている自覚と、充実した時間を過ごしたいと思います。自己満足にならないよう気を付けて参加させていただきたい。
- ・現在、囲碁ボランティアを登録していますが、なかなか活動機会がありません。個人的には、自分の能力、時間などの条件が合えば、囲碁に限定することなく地域のお役に立ちたいという思いがありますが、努力不足かも知れませんが、そのチャンスを捉えることができていないのが現状です。
- ・高齢でも元気でボランティア活動ができるのは、健康だからこそと思います。健康管理が大切だと実感しています。
- ・現在、ボランティア活動に携わっている人は高齢者が多いように思います。若い世代でも主婦など興味を持てば、もっと参加する人が増えると思います。全戸配布の市政だよりや社協のたより等の中で、きっかけがあればと思います。何かしたいという思いは、皆あると思います。
- ・グループのメンバーが70歳を超えていますし、段々と足腰も弱くなる一方、運転も厳しくなるので、一ヶ所に施設から送迎してもらえたら、ありがたいと思います。
- ・サークル会員も年金生活です。せめて、交通費が出たらいいと言っています。車を運転する人もボチボチ無理かなと言っています。
- ・ボランティアと聞くと、とても大変に思われています。気軽に入り、自分の地域は自分たちで守るという気持ちが欲しい。
- ・友人に活動したいがどこに申し込んだらいいのかわからない。自分の活動の日に、用があって休まなくてはならない時、休めるのか
- ・障害者団体も高齢化しておりますが、ボランティアの会員も高齢です。若い会員が役員などの負担が無く活動できるようになればと思います。
- ・ボランティアをする人は高齢の方（時間的、経済的な余裕からだと思います。）が多く、若い人の参加方法を早急に考えるべきだと思います。
- ・今後ますます、高齢者が増えると思うが、相互に助け合い、予防できることはする。コミュニケーションをとりあうなど、たくさんの助け合い活動が必要と思う。
- ・自分自身が高齢なので、受ける側になるのはもうすぐだと思います。買い物やゴミ出しなどもお願いしたくなると思います。
- ・自身の高齢化で、今までできたことも時間がかかり、少なくなっていくと思いますが、できるだけ続けたいと思っています。高齢化対策としてよろしくをお願いします。

- ・ボランティアをする人とされる人の年齢があまり変わらない。
- ・活動しているグループのメンバーも段々と高齢になっているので、もっと会員を増やさないといけない。
- ・ボランティアという言葉ではなく、地域のいろんな活動に参加してもらおうように働きかけが必要だと思う。はじめの一歩を踏み出せば変わる。
- ・10年一日のごとく、同じことを繰り返している。新しいことに取り組む気持ちが大切。
- ・昭和を語る人が少なくなってきました。戦後100年～200年といわれる様に…若い人に伝えたいものを持っています。又、世界の珍しい楽器などを紹介したい。
- ・ボランティア同士の横のつながり?若い人たちも活動してほしい。またそう言うボランティアを多く作る?「電話」だけでなくまた、組織だけでなく自由に会えたりする方法は?
- ・ボランティア即ち自己啓発でもある。人のためにやるのではなく自分のためとも思われる。
- ・知る人ぞ知るにならないようになっていけば、少しづつでも広がっていくのかなと(?)…
- ・ボランティアをさせていただくのではなく、年配の方々に生き方の勉強をさせて頂いています。
- ・ボランティアに加入しましたが、仕事の都合と家族の入院、介護で加入して1～2回顔を出しただけで現在活動していない状態です。講座も受講させて頂きましたが、現在活動する余裕がなく申し訳ございません。
- ・独居老人の居場所づくりが大切で、各地域に空き家があれば市で借り上げるか買取し、独り暮らしの方々が楽しく集える場所が一つでも増えたらと思います。
- ・社協職員には、グループの活動の助成金の事等で、相談や質問にいつも丁寧に対応していただき、感謝しております。
- ・定年後の住民が少ない地域の為、自治会でのボランティアに関する取り組みが全くないので残念です。
- ・住人皆が小さな人作り思いやりのボランティアであってほしい。
- ・区、自治会との取り組みに対し、老人以外の自治会全体に分かりやすく浸透する。一部の会長・組長で止まっていて、社協自体知らない人が多いと思う。
- ・ボランティア活動者を増やす方法として、元気で働いていない人に、直接的に働きかけて行ってボランティアに関心を持ってもらうことが第一歩だと思う。
- ・ボランティアすることでお互いが生き生き生活できればうれしいなと思っています。
- ・このようなアンケートで当事者の声を汲んでくださることはありがたいです。ボランティアは提供者と受け手の双方が笑顔でいられることが基本だと思います。
- ・私は養老院へ慰問によく行きます。人を喜ばせて自分も元気で皆さんが楽しく、また来てほしいといわれる私になりたいと思っています。
- ・ボランティア活動は地味だから正直どのようなことをしているのかわからないのが事実です。(高齢者には特にわかりません)
- ・“ボランティア”という一歩踏み出すのに勇気があるイメージ。もっと身近に感じられたらいいと思う。
- ・団体の運営の一つとして会計がある。社協からの援助もあり、標準的な会計科目を提示された方がよいのではないかな。
- ・ボランティアが終わるといつも非常に充実感を感じて気持ちがすっきりします。
- ・活動に伴う移動手段の自己負担軽減!!近隣へは徒歩で移動可能ですが、遠方は各人で負担している。今後高齢に伴い、社協より送迎バス支援又は交通費支給等の安心・安全確保を切に望みます。
- ・生き生きとしたボランティア活動の工夫や楽しい養成講座の企画
- ・なかなか時間が取れないかもしれないが、若い方の参加がもっと増えたらと思う。
- ・広域的に視覚障害者の方はバスで、降車ボタンの位置がわからない方が多いのでお手伝いしていますが、良い方法は無いものでしょうか。
- ・自分がかかわっている以外のボランティア活動のことはあまりわかりません。どんな活動をしているのか、ほかのグループとの交流が必要では?
- ・年齢による体力の弱体で年ごとに活動の幅が少なくなっていく事
- ・ボランティアと言いながら大したこともしてなくて他の方に迷惑をかけています。申し訳なく思います。
- ・ボランティアとして活動しているというよりは自分の健康と楽しみのために参加をさせて頂いております。お役に立っていただければ幸いです。
- ・女性ばかり8名で活動しています。歌、踊り、舞、三味線、全て音響設定が必要ですが、持ち寄りで大変なところあります。送迎なども
- ・お年寄りも大切ですが、心豊かな子供たちが育つ京田辺へ。大人が子供を見守る。
- ・便利、都合よさばかり求めないで、少しでも昔の良かったゆとりのある活動を

- ・今は個人でやっているの、同じような活動をしている人との交流があれば、又学び、活かせるかなと思います。
- ・ボランティアに出かけるのに車を使用。今後、車に乗らなくなる予定。そうすればボランティアをやりたくても社協や事業所が遠いのでやめるかもしれない。近い所であればいいのだが
- ・グループでの日帰りハイキング時、傷害保険を紹介してほしい。
- ・障害者トイレの充実を希望。（車いす使用者が使えるトイレ）公園や体育館等入口に階段や段差があり一人で利用できない。水も出てこない。修繕・改装の必要あり。行政と相談してほしい。
- ・自分たちの技術の向上が第1ですが、活動を通じて知識・技術も向上していくので、もっと活動の場を多くして、市民の方に知ってほしいと思う。
- ・自分が活動していることが「ボランティア」とは思っていない。「ボランティア」という言葉は私はあまり好きではない
- ・色々な方と知り合うこともよいかと思いますが、いっぱい関わり、中途半端なことをしたくない。長く続く活動をしたと思う。
- ・ボランティアグループ間の交流・情報交換などがほとんどないので、1年に1回は全グループが集まって交流・親睦を深めたい。
- ・大正琴グループも高齢化になり、後継の人を求めています。
- ・〇〇祭り、フェスティバルとかより、日常的な弱者支援に予算をとってほしい。
- ・自分の所属しているボランティアだけで、他のグループの内容がわかっていない。わかろうとしていない自分がいて、残念に思っている。
- ・障害者の方へのサポート（外出・家事）ヘルパー事業だけでは不十分。空家・空地の整備サポートなど行政が行き届かない部分にもVの活用を進めてほしい。
- ・定年退職した男性を引っ張り出し何でもよいから社会奉仕させる。
- ・毎月の当番で楽譜作り、演奏の時間など楽しくやっています。
- ・現在はほとんどボランティア活動はしておりません。主人の介護で時間的に難しい。
- ・舞台の道具があるので、運転できる人と組んでいただければと常に思っている。
- ・退職したら何か活動したいが、どういうV活動があるのかわからないので、何らかの方法でわかるようにしてほしい。
- ・社会的孤立状態に陥った方々（生活保護受給者等）に社会的自立の一歩として地域と交わるようなボランティアの場を提供する。ケースワーカー・就労支援員と連携する。
- ・まだまだ知られていない活動がたくさんあると思います。もっと広く利用してもらうために、自治会など声かけが必要
- ・介護講座や講演会の開催で募集され実施するという待ちの状態ではなく、こちらからボランティア活動いたしますという攻めの姿勢が必要では
- ・大住ヶ丘・松井ヶ丘は独居老人が多いので、楽しめる催しなどを多くつくっていただきたい。
- ・長く活動を続けているが、皆も高年齢により運転もしなくなり、遠方だと交通費がかかるため、少しでも交通費が出たらよいなと思っている。
- ・自分の能力不足で参加者の進歩にも影響しているのではないか。
- ・活動に参加要請があっても日程調整などで人が集まらず、お断りすることが多い、どうすることもできない現状です。
- ・ささやかな活動しか出来ませんが、できるだけ続けることで、少しでもお役に立てればと願っています。
- ・若い世代の方の参加が少ないので、今後活動を継続して行くためには、その方たちへの働きかけが不可欠だと思われる
- ・京田辺市在住の方で、点字が読める方が少ない。せっかく作成した点字本が実際に市図書館に並べられているだけ。（お蔵入りのデータも多い。）実際に役立っていない。京都府内の図書館同士の交換はできないのか。（情報のやりとり）作成は自己満足しているだけ？京田辺には「総合教育」の（視覚障害の）児童、生徒はいない。長岡京市や宇治市には、絶えずいる。環境の整った地域に移住しているのか。
- ・市社協の皆さんの活動（仕事）に感謝しております。
- ・車椅子を押していると、道の幅が狭かったり、道がボコボコしていたり、安全に押すことが困難なところがある点
- ・なぜこのアンケートが届いたのかさっぱりわかりません。
- ・交通手段（バス）がないので困っています。それに交通費がせめて半額になればと思います。（年金暮らしなので）
- ・ボランティアをしたことによって自分の世界が広まった。
- ・77歳。年齢的にきついです。引退を考えています。若い人に頑張ってほしい。
- ・自分の家の介護が増えてきて、出られなくと思われま。若い人の参加を願います。

- ・最近あちらこちらで三世代交流、異世代交流が叫ばれています。社協での居場所づくりが一番良いと思う。毎週同じ場で異世代が交流できるように。ただ高齢の方には社協までの足を考える必要ありと思います。そんな（足）に対して車の送迎ボランティアがあれば。各地域での居場所づくりができるとよい。
- ・今は時間がないのでボランティアは考えられません。余裕ができれば考えたいと思います。
- ・視覚障害者へ支援するグループの間で連携して欲しい。各々のグループが集まって、交流会の実施について話し合っほしい。
- ・色々な観点より自分の住む京田辺を良くしたい、良くなってほしい。
- ・ボランティアにも色々ありますので、一概に言えません。ただ高齢者施設の職員不足は目に余るので何とか出来る事があればお手伝いがしたいです。
- ・民生委員の方、区自治会の方、ボランティアと連携しあい、老人を見守る。（子供たちには頼らない）
- ・ボランティアに行っている施設での職員、利用者、ボランティアの人間関係が難しい。ほとんどの方は好意的だが、中には（私の手話が下手なためか？）きつく当たる人もいる。でも少しずつ手話を勉強して上手になって行きたい。
- ・元公務員（市・行政・警察・教育などに関わった人）出身のボランティアが極端に少ない。ボランティア思想が広がらない最大の要因と考える。
- ・地域の人は地域の手で助け合うことが大切なので、公民館（各地区）を開放をするか、管理人をおいていつでもだれでも利用できる施設が必要！遠いところに立派な建物があっても、足腰が悪い人は遠い施設は自分の足で行けない。健康で長生きしないと意味がないと思います。
- ・ボランティア貯金的な感じで、自分がボランティアした分をポイントの様に貯めておいて、自分がしてもらおう立場になった時にはそれを使って、気兼ねなくしてもらえたらいいかなと思います。
- ・ボランティアをしたことのない人への情報提供の充実
- ・自身の年齢や体力を考えたうえで出来る限り自信を持って参加しようと思います。
- ・社会をつなげていくために必要なことと思いつつ、自分の日常が忙しくなると削ってしまう対象であることが悩ましい。
- ・住居区の近くで活動できるのが重要なので、それぞれの拠点になるような場所を増やしてほしい。
- ・ボランティア活動の実態をもっと市民に知ってもらうことが必要（関心をもってもらう）。市の広報活用も一案。
- ・点字サークルすみれは、その性質上、現組織づくりは大変うまく運営され、満足しています。しかし地域老人会の役員になり、その組織の伝統（50年）を見るに付け、各地域の個性があり、一筋縄にはいかないと感じています。
- ・2015年4月ふれあいサロンへのお誘いを受けボランティア活動再開。「うれしかった！」参加できる幸せを感じながら社会福祉等学び続けたい。
- ・また時間の都合がついた時に参加させて頂こうと考えています。
- ・社協までの交通手段がバスの便も悪く、何とかならないかと思っている。
- ・無料だから何でもかんでもボランティアに頼んだらいいと思っていることに少し不満を感じる時がある。
- ・まだまだ高齢の方々に寄り添えるボランティアになっているかどうかわかりませんが、出掛けていく場所のある高齢者は元気に毎日過ごせるように思います。地域の中での場所づくりも大切だと思っています。
- ・自分自身ボランティアグループに参加している意識がなく活動していると思ってないので、アンケートはとても困った。
- ・もっと楽しい時間が持てるよう、楽しいフラダンスを目指したいと思います。
- ・ボランティアの質の向上と地位（位置づけ）の向上。実際にボランティアをしている人の意見がなるべく尊重され、改善に役立てられる。（制度面だけでなく、意識の変化だけでも良くなることはある。）
- ・毎月ある特定の人への院内介助は、その内容・時間を考えると、ボランティア活動の域を超えているように思う。
- ・問21にも書いたが、所属するボランティアグループの高齢化、それに反して40代50代の若い方達の参加がほとんどないことに不安を持っています。
- ・「年と共に身体の自由が利かず開催されるイベントにも行きたくとも参加できず、何か小規模な近い所で催して欲しい。」「話し相手が欲しい」「本を読んでほしい」等々聞こえました。
- ・民生委員のボランティアへの関わり方を考えると、ボランティア活動に広がりができる。
- ・無関心な人が多く、気力・体力をフルに使って欲しいと思います。
- ・交流の場で優しい気持ちになれる。必要とされているのは何か？と、考えながら活動する。



- ・施設訪問等で、人や道具の運搬に何か良い方法はないかと思う。それと、社会現象だと思うが、共働きなどで、若い人のボランティア参加が少ないと思う。
- ・ボランティア活動に見返りは求めたくないが、いつの日か助けてもらいたい時が来た時に、今活動していることに対してポイントのような型でためておけるシステム等を考えてはどうか。現在よく似た形のものがあるように聞くと、内容等、詳しく承知していない。広くPRする必要があると思う。
- ・いつもありがとうございます。グループ数も増え、グループ同士の交流の場も少しずつ増やして頂いて、とても嬉しく思います。その際に一人一人の名札があれば、よりお互いがわかるかなと思います。
- ・ボランティアで勉強したことを活用する場が少ないので、覚えても忘れやすいので、クリスマス会やその他の所で交流して活用したいと思う。
- ・生活の一部になりました。少しオーバーワークなので、色々な意味で整理が必要です。
- ・安易に養成講座を実施して、事前の相談もなく既存のボランティアの活動場所に受講修了者を送り込むのはやめてもらいたい。
- ・ボランティア団体が異なると、同じ地域でもつながりが熱いので、ボランティア団体の枠とは関係なく同一地区の集まりを行ってはどうか？
- ・サークル内でのメンバーの思いの違いで考えることがある。
- ・テレフォンの対象者の高齢化が進む中、会員が増えず、当ボランティアの会員も増えない。民生委員、自治会との連携強化が大切では!!

用語集

用語	説明
【ア行】	
SNS	「Social Networking Service(ソーシャルネットワーキングサービス)」の略。人と人との繋がりを維持、促進する様々な機能をインターネットを通じて提供するサービスのこと
【力行】	
給食サービス	見守りや安否確認の必要な高齢者にお弁当をお届けする社協事業の一つ。食事の提供が主な目的である有料型と地域との関係づくりや友愛訪問を目的としたふれあい型がある。
旧村地域	古くからある集落。この計画書の中では、急速な開発が行われた1970年代前から、住民自治組織があった集落、地区のことを表しています。
区・自治会活動	一定の地域(町、丁目、小字等)の住民によって組織化された自主的な団体のこと。
共助	家族、企業単位や地域コミュニティで共に助け合うこと。
京田辺市地域福祉計画	全ての人々が地域で自立して幸せな生活を送ることができるように、解決すべき生活課題や支援を必要とする人を把握し、課題発生を予防するための仕組みや課題をどのように解決していくのかを定めるもの。
共同募金活動	社会福祉のための寄付を公募する活動。(毎年10月1日から12月31日まで)
公助	個人や地域社会では解決できない問題について、国や自治体が支援を行なうこと。
コスモス喫茶	ボランティアコスモスが九十九園にて定期的実施している喫茶活動
コミュニケーション	社会生活の中で互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと。
コミュニティカフェスペース	飲食をしながら、共通の関心を持ちメッセージのやりとりを行う人々が集まる空間。
高齢者あんしん サポート企業研修	京都地域包括ケア推進機構が実施する企業や事業所を対象とした、高齢者をサポートする企業としての登録を受けるための研修。
【サ行】	
生活困窮	収入や財産が少なく経済的に厳しい生活の状態のこと。
社協地域役員	各地域から選出された地域役員のこと。(正副支部長、正副分会長、福祉員)

在宅サービス部門	「在宅」における介護サービスを提供する部門。
集合住宅	一棟の建物の中に複数の住居がある形式の住宅。
少子高齢化	出生率が低下する一方平均寿命が延びたことによって、人口全体に占める子供の割合が低下し、高齢者の割合が高まること。
常設型 災害ボランティアセンター	災害発生時だけではなく、平常時から地域住民や関係団体と連携し、地域において防災や減災に関する取り組みを行っているボランティアセンターのこと。
小地域福祉活動	地域単位で進める活動。京田辺市では区、自治会を単位に住民や住民組織による福祉活動と位置づけている。
新興住宅地	新しく開発された住宅地。この計画書の中では、山林や丘陵地、田畑を開発した住宅地を表しています。
人口減少社会	出生率の低下などを背景に、人口が減少し続けている社会。
スキルアップ	技術や能力を高めること。
生活圏域	人間の生活のための行動に主眼をおき、買い物、医療、レクリエーション、通勤等の行動が主として行われている範囲（地域）。
<b>【夕行】</b>	
団塊世代	第1次ベビーブームといわれた戦後1947年から1949年に生まれた人たちのこと。
地域福祉活動団体	市民や当事者等で組織され、社会貢献や公助の福祉を目的に活動する団体。
地域包括支援センター	高齢者の介護や暮らしに関する総合相談窓口。京田辺市内には、3ヶ所に設置されています。通称は「あんあん」と言います。
テレフォンサービス	ひとり暮らし等の高齢者へテレフォンボランティアが電話をして、話を聞いたり必要な情報を提供したりすることで、見守りや安否確認を行うサービス。
当事者	物事に直接かかわりのある人。
<b>【ハ行】</b>	
バリアフリー社会	障がい者や高齢者等日常生活を送る上で支障のある人が、社会参加・日常生活を送る上で支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くよう、配慮や工夫がされた社会。

ひだまりの会	洛南寮の入所者と地域高齢者の交流の場として、社協と洛南寮が協働で実施。
ひとり親世帯	父か母のどちらか一人と未成年の子供だけの家庭。
フォローアップ	ある事柄について徹底させるために、後々まで補い助けること。
ふれあいサロン活動	地域住民が主体となって、住民もしくは高齢者や子育て世代と言った分野別の交流や親睦をはかって関係づくりを進める福祉活動。引きこもりや地域社会からの孤立の予防、また悩みや不安を話し合っ心身の健康をはかるため多くの地域で進んでいる。
ボランティア連絡協議会	ボランティアグループ間の連携と交流を深め、ボランティア活動をより活発なものにするための推進団体。
【ナ行】	
ニーズ	人間が生活を営む上で感じる「満たされない状態」のこと。
日常生活	毎日繰り返される取り立てて特別な出来事のない生活。
認知症サポーター養成講座	認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援するボランティアを養成する講座。
ネットワーク	人や組織の、ある広がりをもったつながり。
【マ・ラ行】	
民生委員・児童委員	民生委員は民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地域公務員であり、児童福祉法に定める児童委員と兼ねることとされている。
リニューアル	新しく作り直すこと。一新すること。
要配慮者	日常生活や地域生活を営む上で、何らかの支援や援助が必要な人のこと。